

近畿地区公立中学校
修学旅行実施状況報告書

近畿中学校長会修学旅行専門委員会

目次

1. 2022(令和4)年度の実施状況について

- (1) 実施時期
- (2) 実施方面(校数)
- (3) 実施方面(人員)
- (4) 当初の予定より変更(行先、時期、日数など)した割合
- (5) 旅行日数
- (6) 主たる交通手段
- (7) 旅行費用(方面別)
- (8) 旅行費用内訳(方面別)
- (9) 不参加生徒
- (10) 取り扱い旅行会社

2. 実施および計画について

- (1) リスクに対する保険加入
- (2) 修学旅行の在り方(検討の必要性、検討事項、時期など)

3. ご回答者からのコメント

- (1) 修学旅行の在り方
- (2) 工夫や配慮した点
- (3) 各施設(宿泊、観光、体験など)への意見や要望
- (4) 運輸機関や旅行会社への意見や要望

4. 現1年生の実施計画について

1. 2022 (R4) 年度 実施状況について ★未回答校を除く

1- (1) 旅行実施時期について (当初の予定)

(単位:校数)

出発月	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	総計	構成比
4月	7	2	48	2	9	3	46	5	122	11.4%
5月	140	79	155	68	61	49	5	55	612	57.2%
6月	145	41	35	11	18	15	10	16	291	27.2%
7月	2	2						3	7	0.7%
8月	1		1						2	0.2%
9月	12	1	9	1		1		1	25	2.3%
10月	2						2	1	5	0.5%
11月						1		1	2	0.2%
12月	1								1	0.1%
1月									0	0.0%
2月					1				1	0.1%
3月					1				1	0.1%
合計	310	125	248	82	90	69	63	82	1,069	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

※未報告分の数値は含まれておりません



1- (1) 旅行実施時期について (変更後の内容)

(単位:校数)

出発月	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	総計	構成比
4月	5	2	42	1	9	2	19	2	82	7.6%
5月	123	77	138	43	56	37	5	33	512	47.7%
6月	140	41	38	19	21	14	30	21	324	30.2%
7月	9	2		1		2	2	6	22	2.1%
8月	2		2			2		8	14	1.3%
9月	21	3	18	15	2	8	2	8	77	7.2%
10月	8		7	3	2	3	4	5	32	3.0%
11月			2		1	1	1		5	0.5%
12月	2								2	0.2%
1月			1						1	0.1%
2月					1				1	0.1%
3月					1				1	0.1%
合計	310	125	248	82	93	69	63	83	1,073	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

※未報告分の数値は含まれておりません

※2021 (R3) 年度3学期実施予定の延期分が含まれているため、当初の予定より校数が増えています。

★対象校数に対する回答校数について

(単位:校数)

	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	総計
対象校数	329	125	253	82	92	70	95	100	1,146
回答校数	310	125	248	82	92	69	63	83	1,072
回答率	94.2%	100.0%	98.0%	100.0%	100.0%	98.6%	66.3%	83.0%	93.5%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

1- (2) 旅行実施方面について (当初の予定)

(単位:校数)

方面									昨年度				
	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	総計	比率	総数	比率	昨年差異
北海道	1		3	1					5	0.5%	3	0.3%	0.1%
東北									0	0.0%	0	0.0%	0.0%
関東	15	3	69	18	12	2	15	4	138	12.9%	121	13.6%	-0.7%
中部	81	55	21	9	18	9	4	6	203	19.0%	181	20.4%	-1.4%
近畿	10	1	9	4	6	1	1	6	38	3.6%	46	5.2%	-1.6%
中国・四国	43	49	12		21	8	6	11	150	14.0%	137	15.4%	-1.4%
北九州	50	10	79	11	16	15	7	5	193	18.1%	139	15.7%	2.4%
南九州		4	8	4					16	1.5%	11	1.2%	0.3%
沖縄	109	3	47	35	17	34	30	49	324	30.3%	245	27.6%	2.7%
その他	1							1	2	0.2%	5	0.6%	-0.4%
総計	310	125	248	82	90	69	63	82	1,069	100.0%	888	100.0%	

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

※関東(伊豆・富士含む)、中部(信越・北陸・東海・伊勢志摩含む)、北九州(九州7件のうち宮崎・鹿児島除く)



1- (2) 旅行実施方面について (変更後の内容)

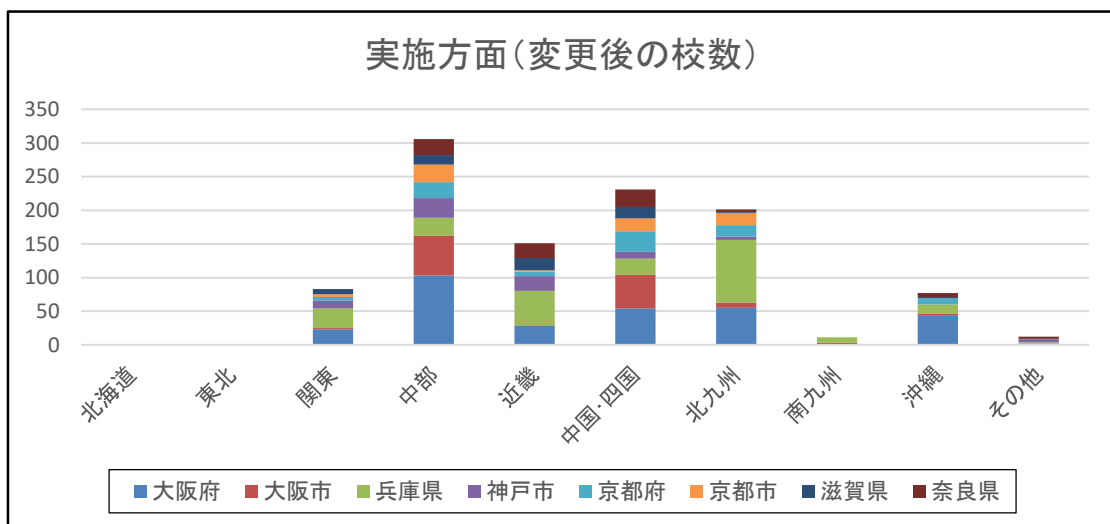
(単位:校数)

方面									昨年度				
	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	総計	比率	総数	比率	昨年差異
北海道	1								1	0.1%	0	0.0%	0.1%
東北									0	0.0%	1	0.1%	-0.1%
関東	23	2	29	12	5	4	8		83	7.7%	33	3.2%	4.5%
中部	103	59	27	29	24	26	14	24	306	28.5%	290	28.5%	0.0%
近畿	28	1	51	22	7	2	18	22	151	14.1%	346	34.0%	-19.9%
中国・四国	54	50	24	10	31	19	17	26	231	21.5%	198	19.5%	2.1%
北九州	55	8	93	5	17	18	3	2	201	18.7%	122	12.0%	6.7%
南九州		3	8						11	1.0%	6	0.6%	0.4%
沖縄	44	2	14		9		2	6	77	7.2%	7	0.7%	6.5%
その他	2		2	4			1	3	12	1.1%	14	1.4%	-0.3%
総計	310	125	248	82	93	69	63	83	1,073	100.0%	1,017	100.0%	

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

※関東(伊豆・富士含む)、中部(信越・北陸・東海・伊勢志摩含む)、北九州(九州7件のうち宮崎・鹿児島除く)

※2021 (R3) 年度3学期実施予定の延期分が含まれているため、当初の予定より校数が増えています。



1- (3) 方面別参加人員合計 (当初の予定)

(単位: 人数)

方面	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	方面別合計	構成比
北海道	113		113	235					461	0.3%
東北									0	0.0%
関東	1,910	297	6,005	2,171	828	157	1,460	527	13,355	9.7%
中部	12,405	7,691	3,698	1,221	2,480	1,474	616	541	30,126	22.0%
近畿	1,503	213	1,459	379	253	24	133	294	4,258	3.1%
中国・四国	5,844	6,129	1,629		2,039	565	684	955	17,845	13.0%
北九州	7,359	1,052	11,120	1,241	1,455	2,122	1,169	419	25,937	18.9%
南九州		512	1,364	455					2,331	1.7%
沖縄	15,874	253	5,496	5,127	2,046	4,270	4,054	5,521	42,641	31.1%
その他	168							6	174	0.1%
総計	45,176	16,147	30,884	10,829	9,101	8,612	8,116	8,263	137,128	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

※関東(伊豆・富士含む)、中部(信越・北陸・東海・伊勢志摩含む)、北九州(九州7件のうち宮崎・鹿児島除く)



1- (3) 方面別参加人員合計 (変更後の内容)

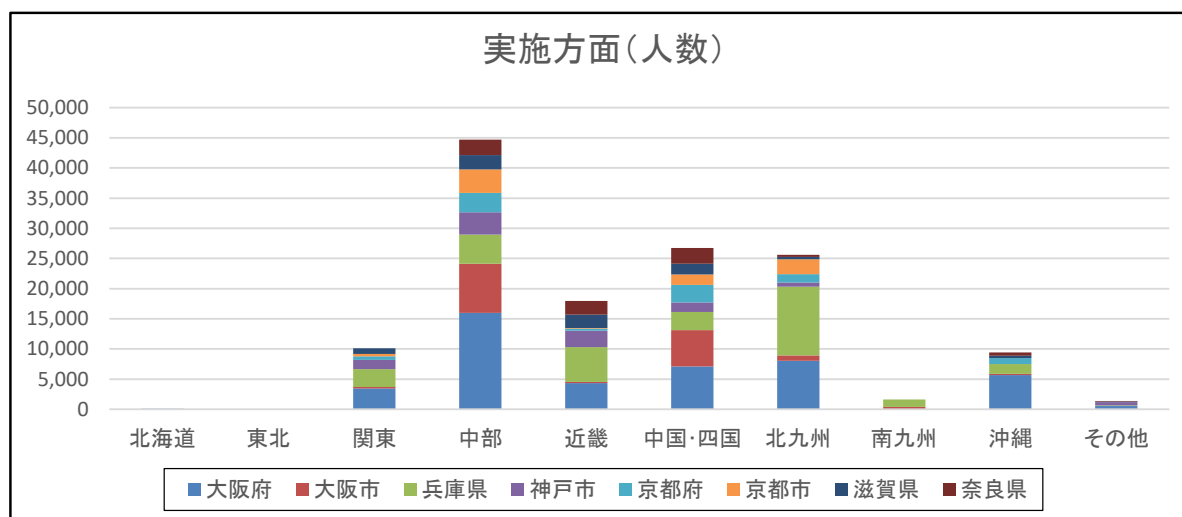
(単位: 人数)

方面	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	方面別合計	構成比
北海道	113								113	0.1%
東北									0	0.0%
関東	3,427	278	2,940	1,517	616	403	923		10,104	7.3%
中部	15,983	8,137	4,824	3,738	3,174	3,896	2,366	2,592	44,710	32.5%
近畿	4,320	213	5,793	2,708	320	135	2,186	2,303	17,978	13.1%
中国・四国	7,075	6,045	3,001	1,591	2,927	1,698	1,773	2,617	26,727	19.4%
北九州	8,046	888	11,389	695	1,365	2,480	397	335	25,595	18.6%
南九州		377	1,263						1,640	1.2%
沖縄	5,671	209	1,595		1,007		384	542	9,408	6.8%
その他	541		79	580			87	85	1,372	1.0%
総計	45,176	16,147	30,884	10,829	9,409	8,612	8,116	8,474	137,647	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

※関東(伊豆・富士含む)、中部(信越・北陸・東海・伊勢志摩含む)、北九州(九州7件のうち宮崎・鹿児島除く)

※2021 (R3) 年度3学期実施予定の延期分が含まれているため、当初の予定より校数が増えています。



1- (4) 当初の予定(行先, 時期, 日数など)より変更した割合 (単位: 校数)

	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	合計
回答校数	310	125	248	82	93	69	63	83	1,073
変更あり	92	9	104	58	24	36	47	57	427
変更率	29.7%	7.2%	41.9%	70.7%	25.8%	52.2%	74.6%	68.7%	39.8%

(単位: 人員)

	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	合計
回答人員	45,176	16,147	30,884	10,829	9,409	8,612	8,116	8,474	137,647
変更あり	14,181	841	11,531	7,894	2,135	4,479	6,164	6,360	53,585
変更率	31.4%	5.2%	37.3%	72.9%	22.7%	52.0%	75.9%	75.1%	38.9%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

1- (5) 旅行日数 (単位: 上段~校数/下段~人員)

	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	合計
日帰り			1						1
			166						166
1泊2日	23	19	19	2	1	9	13		86
	3,165	2,772	2,347	295	24	1,451	1,500		11,554
2泊3日	287	123	228	63	89	68	54	68	980
	42,011	15,959	27,946	8,482	8,954	8,588	6,665	6,948	125,553
3泊4日		2			2			2	6
		188			160			26	374
全体	310	125	248	82	93	69	63	83	1,073
	45,176	16,147	30,884	10,829	9,409	8,612	8,116	8,474	137,647

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

1- (6) 主たる交通手段 (単位: 校数)

	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	合計
JR	103	18	129	25	26	22	21	3	347
集約列車	11	12	66	12	5	11			117
小口学生	92	6	63	13	21	11	21	3	230
航空機	46	2	19		9		2	6	84
貸切バス	161	105	100	56	58	47	40	74	641
その他				1					1
合計	310	125	248	82	93	69	63	83	1,073

(単位: 人員)

	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	合計
JR	15,212	2,204	15,611	2,918	2,243	3,101	2,307	479	44,075
集約列車	1,467	1,409	7,478	1,239	632	1,579			13,804
小口学生	13,745	795	8,133	1,679	1,611	1,522	2,307	479	30,271
航空機	5,824	209	1,948		1,007		384	542	9,914
貸切バス	24,140	13,734	13,325	7,741	6,159	5,511	5,425	7,453	83,488
その他				170					170
合計	45,176	16,147	30,884	10,829	9,409	8,612	8,116	8,474	137,647

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

1-(7) 旅行費用の最高額、最低額および平均額（府県市別方面別）

(単位:円)

		大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	平均額
北海道	平均額	73,677								73,677
	最高額	73,677								
	最低額	73,677								
東北	平均額									0
	最高額									
	最低額									
関東	平均額	65,749	52,720	66,784	56,248	61,464	55,137	60,325	66,784	63,125
	最高額	78,311	54,400	82,000	56,995	65,000	57,186	68,367		
	最低額	53,155	51,039	52,114	54,990	58,000	49,361	48,169		
中部	平均額	49,972	50,071	54,396	53,785	53,832	56,440	56,374	61,189	52,747
	最高額	65,854	57,000	62,513	56,985	71,671	57,300	64,871	69,488	
	最低額	39,988	43,300	44,798	47,533	46,791	48,473	43,256	45,000	
近畿	平均額	54,813	50,000	57,294	55,560	60,102	57,079	61,668	64,927	58,421
	最高額	69,000	50,000	64,769	56,982	67,499	57,079	74,972	91,284	
	最低額	43,081	50,000	47,748	51,862	51,464	57,079	36,042	53,912	
中国四国	平均額	55,394	50,498	57,065	55,929	61,446	56,041	65,001	61,711	56,550
	最高額	67,364	55,000	72,709	61,109	90,902	57,300	72,586	76,427	
	最低額	41,847	44,278	44,357	52,943	48,049	52,596	59,179	54,295	
北九州	平均額	62,415	52,603	63,983	55,630	66,842	56,693	68,187	61,324	62,553
	最高額	79,186	55,509	76,946	56,927	82,489	57,300	72,995	64,147	
	最低額	53,534	49,701	51,791	53,696	53,698	48,229	65,332	58,500	
南九州	平均額		53,691	62,266						61,178
	最高額		54,900	77,028						
	最低額		52,481	56,076						
沖縄	平均額	62,653	54,950	67,659		67,525		70,000	84,676	65,631
	最高額	78,046	55,000	75,813		76,366		70,000	158,000	
	最低額	55,000	54,900	59,600		52,850		70,000	62,607	
その他	平均額	57,474		69,544	56,537			65,444	77,710	64,474
	最高額	65,000		69,544	58,604			65,444	94,108	
	最低額	49,948		69,544	54,453			65,444	60,846	
全体	平均額	56,843	50,550	61,674	55,202	61,105	56,328	61,799	64,525	58,229

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

※平均額は対象校の旅行代金合計を校数で除した金額です。学校規模(生徒数)は反映していません。

1-(8) 旅行費用内訳（平均額）

(単位:円)

	北海道	関東	中部	近畿	中国四国	北九州	南九州	沖縄	その他	全体平均
交通費	46,685	25,834	14,527	14,383	16,922	29,685	29,579	37,703	20,673	21,063
宿泊代	22,990	20,994	20,149	25,187	22,197	20,263	20,677	17,317	26,250	21,070
食事代	1,618	3,314	2,971	3,550	3,567	2,833	2,188	2,560	3,353	3,125
体験・入場料	781	8,492	11,182	9,393	8,951	5,039	3,188	4,578	9,434	8,429
保険料	281	906	910	1,000	893	1,041	1,405	1,316	690	975
企画料・添乗経費	1,322	3,585	3,008	4,908	4,020	3,692	4,141	2,157	4,074	3,567
旅行費用合計	73,677	63,125	52,747	58,421	56,550	62,553	61,178	65,631	64,474	58,229
交通費の割合	63.4%	40.9%	27.5%	24.6%	29.9%	47.5%	48.3%	57.4%	32.1%	36.2%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

1-(9) 不参加生徒について

(単位:校数/人員)

		大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	合計
回答校	校数	310	125	248	82	93	69	63	1,073
	人員	45,176	16,147	30,884	10,829	9,409	8,612	8,116	137,647
経済的	校数	12	1	10			1	7	32
	人員	16	1	33			1	12	65
	人員割合	0.0%	0.0%	0.1%			0.0%	0.1%	0.0%
不登校	校数	255	116	188	74	64	60	48	863
	人員	1,362	807	1,000	385	230	285	223	4,598
	人員割合	3.0%	5.0%	3.2%	3.6%	2.4%	3.3%	2.7%	3.3%
疾病/怪我	校数	117	40	82	26	15	28	19	355
	人員	291	96	137	35	21	50	41	722
	人員割合	0.6%	0.6%	0.4%	0.3%	0.2%	0.6%	0.5%	0.5%
部活動等	校数	9	1	9	2	2		2	25
	人員	11	1	13	3	3		4	35
	人員割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%
個人活動等	校数	15	7	11	5	2	3	2	46
	人員	18	8	19	6	2	6	4	64
	人員割合	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
感染症予防	校数	34	17	29	14	6	7	7	129
	人員	69	40	42	15	16	12	12	246
	人員割合	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%
その他	校数	78	29	36	15	13	11	16	219
	人員	152	46	61	23	18	16	34	380
	人員割合	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.4%	0.3%
全体	合計人員	1,919	999	1,305	467	290	370	330	6,110
	人員割合	4.2%	6.2%	4.2%	4.3%	3.1%	4.3%	4.1%	4.4%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

※「人員割合」は回答校生徒全員に対する割合を示しています。

1-(10-1) 取扱旅行会社について(校数)

(単位:校数)

	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	総計	構成比
JTB	90	38	99	55	29	24	19	33	387	36.1%
東武トップツアーズ	84	46	56	3	22	21	28	10	270	25.2%
近畿日本ツーリスト	34	9	46	3	11	7	5	12	127	11.8%
日本旅行	36	5	28	20	12	10	5	10	126	11.7%
阪急交通社	24	16	4						44	4.1%
名鉄観光サービス	14	11	12		1	1		8	47	4.4%
南海国際旅行	12								12	1.1%
その他	16		3	1	18	6	6	10	60	5.6%
合計	310	125	248	82	93	69	63	83	1,073	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

1-(10-2) 取扱旅行会社について(生徒人員)

(単位:人員)

	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	総計	構成比
JTB	12,702	5,437	12,695	6,559	3,319	3,943	3,233	4,288	52,176	37.9%
東武トップツアーズ	11,794	5,418	6,940	561	1,424	2,031	3,175	1,138	32,481	23.6%
近畿日本ツーリスト	6,043	1,304	5,851	430	1,519	983	426	1,483	18,039	13.1%
日本旅行	4,492	738	3,500	3,218	1,523	1,268	966	679	16,384	11.9%
阪急交通社	4,169	2,025	608						6,802	4.9%
名鉄観光サービス	1,909	1,225	987		28	92		728	4,969	3.6%
南海国際旅行	1,597								1,597	1.2%
その他	2,470		303	62	1,596	295	316	158	5,200	3.8%
合計	45,176	16,147	30,884	10,830	9,409	8,612	8,116	8,474	137,648	100.0%

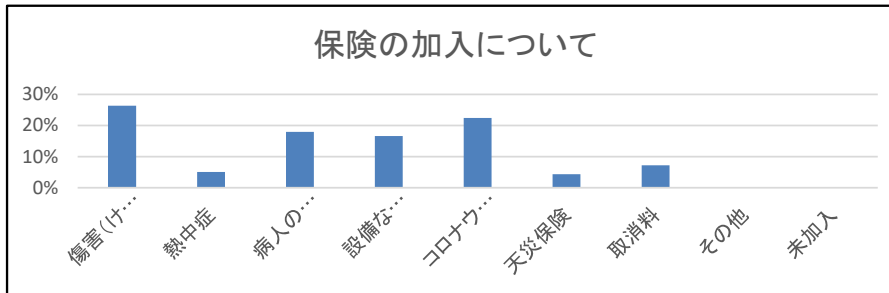
※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

2- (1) 修学旅行の実施に際しどのようなリスクに対する
保険に加入（予定ですか）しましたか。（複数回答可）

(単位:校数)

	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	総計	構成比
傷害(けが)	263	102	214	73	83	60	58	73	926	26.4%
熱中症	52	23	47	21	9	6	7	12	177	5.0%
病人の救護(迎え)	188	76	163	58	46	30	28	42	631	18.0%
設備などの破損	187	77	139	40	41	27	27	46	584	16.6%
コロナウイルス感染症	205	81	189	62	70	47	58	74	786	22.4%
天災保険	49	19	43	14	12	4	6	6	153	4.4%
取消料	60	9	85	13	23	11	19	34	254	7.2%
その他	6		13		2	3	3	1		
未加入									0	0.0%
合計	1,010	387	893	281	286	188	206	288	3,511	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

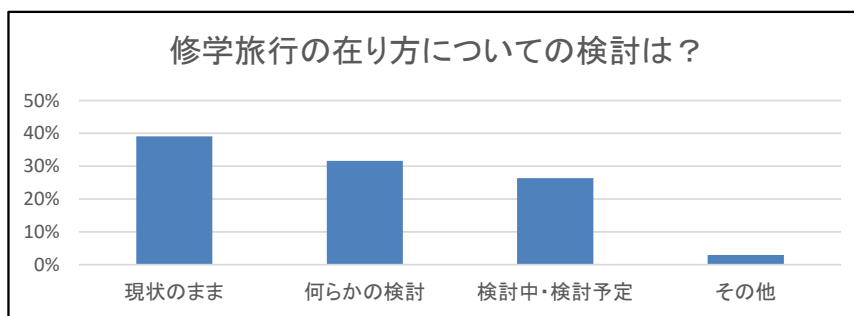


2- (2-1) これからの修学旅行の在り方について
計画に際し検討が必要と考えていることはありますか？

(単位:校数)

	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	総計	構成比
現状のまま(時期・方面・期間)	106	57	121	31	41	24	17	22	419	39.0%
何らかの検討は必要	89	38	67	43	23	23	26	30	339	31.6%
検討中・検討予定	103	27	50	6	28	18	20	31	283	26.4%
その他	12	3	10	2	1	4			32	3.0%
合計	310	125	248	82	93	69	63	83	1,073	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

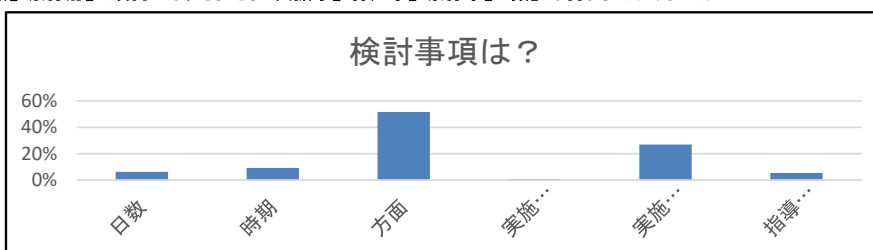


2- (2-2) 検討中(検討予定)または検討が必要な場合、
検討事項は何ですか？(複数回答可)

(単位:校数)

	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	総計	構成比
日数	17	2	7	20	4	2	5	7	64	6.1%
時期	31	6	14	10	9	4	12	10	96	9.2%
方面	170	59	100	31	46	37	42	54	539	51.6%
実施学年	1		2		4		1		8	0.8%
実施内容(ねらい・内容・形態)	100	34	56	13	22	11	20	25	281	26.9%
指導計画・指導時間	24	4	8	6	6	1	4	3	56	5.4%
合計	343	105	187	80	91	55	84	99	1,044	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません



2- (3) 実施時期または学年について検討中 (検討予定)

(単位:校数)

	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	総計	構成比
3年Ⅰ学期⇒3年Ⅱ学期	6	1	3	8	2	1	2	4	27	2.5%
3年Ⅰ学期⇒2年Ⅲ学期	1						1		2	0.2%
3年Ⅰ学期⇒2年Ⅱ学期	1		1						2	0.2%
3年Ⅱ学期⇒3年Ⅰ学期	7	1	1	1				3	13	1.2%
2年Ⅲ学期⇒3年Ⅰ学期					3				3	0.3%
2年Ⅱ学期⇒3年Ⅰ学期			1					1	2	0.2%
合計	15	2	6	9	5	1	3	8	49	4.6%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

2- (4) 春季実施時以外に連合体による集約輸送を希望しますか？

(単位:校数)

	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	総計	構成比
3年Ⅱ学期《関東》				3					3	0.3%
3年Ⅱ学期《中国九州》	1			1				1	3	0.3%
2年Ⅲ学期《関東》									0	0.0%
2年Ⅲ学期《中国九州》	1								1	0.1%
2年Ⅱ学期《関東》									0	0.0%
2年Ⅱ学期《中国九州》									0	0.0%
合計	2	0	0	4	0	0	0	1	7	0.7%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

3- (1) これからの修学旅行の在り方について

航空機の場合、37.5度以上の発熱があれば乗れないという規定があれば、沖縄等の航空機利用が必要な方面については行くことが難しくなる。その条件が変更されるにはどのような状況になれば良いのかが知りたい。
物価高騰が続いている中、修学旅行にかかる経費の面からの修学旅行の在り方についても検討を進めていく必要があると思う。
(公財)全国修学旅行研究協会と(公財)日本修学旅行協会の違いが判らない。同じような協会が並立している状況は無駄が多い。また、同様のアンケートを2協会それぞれが実施されることにより、教職員の働き方改革の妨げとなっている。
「どこにいくか」だけを考えるのではなく「何を学ばせたいのか」で修学旅行の在り方を考えていきたい。
宿泊に関しては、できた方が生徒の満足度が高い。体験活動は感染症対策を十分に行った上で何が出来るかの検討は必要。
R5年度は、沖縄方面で検討しています。
withコロナ・・・学校の所在地域によって課題や目的は変わってくると思うのが、コロナ対応に関する緩和がさらに進まない、引率側の気苦労は尽きない。
そもそも今の時代、必要な行事なのかどうか？
観光地の見学ツアーではなく、生徒が自ら計画・立案したり、実行や体験ができればいいと思う。環境やSDGsの学べる場所があれば、これまでの行程と比較し、検討していきたい。
既存の考え方にはまらずに、学校の特性を生かした内容をいろいろな面から検討することが必要である。
規模を小さくしてもいいのではないのか。
費用の負担、教職員の負担も考えてみていいのではないのか。
思い出に残る貴重な体験や学習 / 教師の負担にならない計画
社会情勢の変化や生徒たちの生活の変化、教員の働き方改革など総合的に見て、実施の有無を含めた抜本的な見直しの時期に来ていると感じている。
生徒が旅行中に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、保護者が現地まで迎えに行くという社会的な認識が必要。そうでなければ、引率教員の数が足りなくなる。
平和学習と体験学習を柱として、自主的に行動できる内容を盛り込んだ修学旅行を企画していく。
平和学習や人権学習、体験学習など目的をしっかりと定めた修学旅行を実施しなければならないと考える。
今回のように新型コロナウイルス感染症が急激に猛威を振るうことになった場合のリスク管理(キャンセル料、現地での治療、帰着までの方法や行程、行程変更によるそれまでの取り組み等) / 学びに対する費用対効果 / 体験等を通じた学び
1.2年生の取り組みを修学旅行で活かすことができる体験・見学を重視する。
①平和学習の機会と捉える ②日常でできない自然体験ができる機会と捉える
2泊3日で修学旅行を実施した。感染リスクを考えると、1泊2日で行い、そして別日で校外学習を実施を検討する必要もあると思う。
2泊3日の日程が必要なのか検討していく必要がある。希望の小さな学校であり、入札があるのか心配である。
3年間の総合学習のまとめとして実施したい
9年間の見通しの中で6年生と3年生の修学旅行の意義について学校全体で考える必要あり
環境学習、防災学習、日本の歴史や伝統文化に関する学習、異文化理解学習を通じてSDGsを学べる修学旅行が意義深いように思う。
PBLに連動させるような修学旅行
With コロナで、生徒たちが充実した活動を行えるようにより一層の工夫が必要である。
withコロナが進んでいく中、感染予防対策の継続と交通手段を飛行機や新幹線等に幅をもった企画を検討したい。
withコロナの発想の活動
アンケートについて ①小遣いの上限は設けていませんので、数値での答え方がありませんでした。②「国庫補助金増額に懸かる陳情書類」に修学旅行列車を利用していない本校について、旅行会社や宿泊費用など、どうしてここまで詳しい情報を提供しなくてはならないのか理由がわかりません。他の目的のためのアンケートですか？
いかに安心・安全を最優先しながら、予算内で効果的なプログラムを実施できるか、具体的な情報交換できる研修会の必要性を感じます。
ウイズコロナの状況において、安心安全を最優先にした行き先や宿泊のあり方を検討する必要がある。
お金のやり取りに学校が挟まらない。
クラス、学年集団づくり / 平和環境学習の貴重な機会とする
ここ3年間は1泊2日の修学旅行を行っています。それは、感染症や経済的な問題が大きくなっていくと考え、その対応や家庭の負担を軽減できるように中学生の修学旅行であっても、1泊2日を継続するように決定しています。加えて、教員の働き方改革による負担軽減は必須であり、2泊より1泊の方が、計画の段階から労力が軽減されると考えています。生徒についても集団不適応や、起立性調節障害などの精神的な問題、常態的に服薬が必要など、様々な特性をもつ生徒が増え、宿泊を伴う行事に合わない生徒も増えてきています。1泊2日の修学旅行を終えた生徒からは「旅行の前に1泊2日かと思いましたが、行ってみると大変充実していて、気持ちも楽で、そんなに疲れなかつた。2泊はできなかったけど、本当に楽しい思い出ができました。」との感想があります。教員からは「こんなに楽な修学旅行は初めてでした。中学生にふさわしい内容で実施すると1泊2日でも十分であると感じました。」という感想があります。
この3年間、方面と時期を変更して修学旅行を実施してきた。方面の変更は状況に応じて仕方がないが、何とか時期の変更を避けて実施できればと願っている。
この調査は特に金額の内訳を聞く部分が細かすぎ詳細を調べるには非常に時間がかかるし、何に有用なのかも疑問です。旅行社に調査すればよいのではないかと思います。働き方改革の面からも改善を要望します。
コロナウイルス感染症などどううまくつきあいながら可能性を模索して臨機応変に実施。
コロナウイルス対応が臨機応変にできる修学旅行。
コロナが発生したら、保護者が迎えに行ける距離でないと思ってしまう。
コロナが落ち着くまでは、保護者が自家用車で迎えに来ることができる場所・距離であることが必要
コロナにより、お楽しみ中心になってしまう傾向にある。本来趣旨にたち戻る必要性を感じる。日頃の学習活動の延長線上にあり、なおかつ現地づしか学べない要素を含んだ内容にしていきたい。
コロナに罹ることを想定した場合、保護者が迎えに来られる範囲にするべきかと思えます。公共交通機関を利用しづらい状況のある中、職員の日当が支給されないことには問題があると考えます。
コロナの影響がなくなった後、どんな方面・内容の展開ができるか今から考えておく必要がある。
コロナの影響でやむを得ず行き先を近隣府県に変更することが多くなり、行き先に合わせて指導を積み重ねていても変更によってそれをまとめる仕上げが行いにくくなっている。このことから、最初から行き先を精査する必要があり、単に前年・前々年の踏襲とするのではなく、コロナの影響で行き先を制限されても指導方針の左右されない目的地設定が大切であると感じた。学校として改めて「修学」が目的で「旅行」が目的ではないことを生徒・保護者に浸透させていく必要があると考えさせられた。
コロナの状況などに影響を受ける可能性があることを前提にフレキシブルに計画する必要がある。

コロナの対策をどうしていくかを踏まえての修学旅行
コロナ禍で様々な制限のある中、考慮しなければならないことが多い。
コロナ禍といえど、民泊活動など子どもたちにとって有意義な取り組みが、制限されることなく実施されることを望みます。
コロナ禍の中、万が一を考えて、保護者が迎えに来やすい場所や宿泊地を選んだ。その中で、体験活動や半活動などより多くの経験や学習ができるように行程を設定した。
コロナ禍が落ち着いてきたので、東京方面で進めたい。修学旅行が必要かも考えたが、保護者や生徒の希望が多いため、何らかの形で実施していきたい。
コロナ禍でも実施可能な修学旅行の計画を考えていきたい。
コロナ禍でも充実した旅行をしっかり考えることが大切。
コロナ禍で制限がある中ではあるが、なんとか普段と違う体験してもらいたい。平和学習はやはり、現地でしかわからないことがある。
コロナ禍にある中、安全安心であり、なおかつ、心に残る修学旅行にするために、どのような方法があるのか、検討が必要である。
コロナ禍を経験して、修学旅行の意味について考える機会になった。大切な行事であると再認識した。
コロナ感染症対策のため、従来のような体験型の活動や地元の方々との交流ができず、観光メインになりがちなので、修学旅行の必要性について疑問を感じる。
コロナ感染症対策をいつまで、どのようにしていくか。キャンセル料、途中離団の際の対応など緊急時の対応を考えなければならない。そのためには同行の職員数が今まで以上に必要になる。
コロナ対応の方針が変わるまでは、保護者が迎えに来れる範囲での修学旅行が主流となっています
コロナ対策
コロナ発症の際、保護者が迎えに来やすいように、場所を岐阜県にした。今年度旅行中に、兄弟の発症により、濃厚接触者となった生徒がでた。本人は元気だったが、同行させることができず、保護者に迎えに来てもらった。最近検査キットが広がってきたので、今後はその検査によって判断していきたいと思うが、同行させるかの判断はなかなか難しいと思う。
コロナ未対応の保険ではリスクが高すぎる(現地で検査に伴う宿泊費、交通費など)。
それぞれの費用が高騰している中で現在約6万円の予算で旅行を計画しているが、現在と同じ方面、行程では無理がある。また、観光が中心になっている。今後は内容、方面等を検討していきたい。
テーマをもって学ばせたい。楽しむ部分のメリハリが必要。現地の人など人とのふれあいや交流をさせたい。
できれば、また沖縄への修学旅行を再開したい。平和学習が、コロナ禍になってから、満足いくように指導できていないので。
ホテルタイプの宿泊や班別自由行動の増加など個人旅行の要素が強くなっている。テーマパークなどは家族で出かけているものが多い。どのような形での修学旅行が良いのか悩むところである。
もしけがや病気があった場合、保護者が安心して迎えに来られる場所。教員の勤務時間内に集合、解散できる日程、を考えないといけない。
もっと身近な地域で、知られていない歴史や文化を知る。第一次産業からの体験学習。
より多くの体験活動ができればと思う。
より探求的な体験活動を重視する修学旅行へとシフトしていくべきと考える。
一定期間後に行先の検討を継続して協議していく。
引き続き、大切な行事として、可能な形態を探りながら、実施の方向で考えていく。
引率教員の負担軽減(拘束時間、食費の負担等)をどのようにしていくか。
遠くに行くことばかりを考えず、近くに目を移すべきだと思います。
緊急時に戻りやすいところ、保護者が迎えに来れる範囲で計画するのが良いと思います。
遠くまで行く必要はないと思う。
遠方である必要はない。個人旅行では経験できない、「主体的・対話的で深い学び」の具現化
遠方への修学旅行を生徒は楽しみにしており、今後の継続することが望ましい。
沖縄方面がよい
家族旅行が増えたことにより、従来の名所・旧跡を巡る修学旅行から、体験型の修学旅行が求められている。ただ、体験内容であったり、生徒の安全確保が課題になってくると思う。
各学校の生徒の実態やめざす姿等と関連させながら、無理のない範囲で方面や内容を決定していくという現状で良いと思います。
学びの機会として、さらに充実させる
学校が行き先を決めて、集団で行くのではなく、生徒たちが探求したいことについて学べるようなものになれば理想だと思いますが、なかなか難しいのが現実だと思います。
学校で修学旅行を実施する意義が薄れてきていることから実施しない方向を検討しなければならない。
学校規模によるが小規模校では旅行社を頼らず計画実施する方向になるのかも
学習の要素を充分に取り入れたものにすべき。
楽しみながらの体験を充実させていく。
感染症対策、教職員の負担や保護者の費用負担を含めた日数の短縮、方面の検討が必要
感染症対策を講じながらの修学旅行の在り方を常に考えていく必要がある。
感染症対策を徹底した上で、体験学習をいかに充実させるか業者とも連携を取りながら検討する。航空機を利用しないで行ける方面を、さらに開拓する。
感染症対策を踏まえた修学旅行のあり方
敢えて遠方に行く必要はない。
管理職としては1泊が妥当と考えているが、教員は2泊させてやりたいと考えている。
教員の業務改善も考える。
教員の働き方改革の1つとして、修学旅行の1泊案を全市で統一して実施してもらいたい
教員の負担軽減を視野に入れて検討していく必要がある。
教師の負担や金銭的な面を考えていくと旅行自体考えないといけないと思う。特に本校の6年度の計画に関しては少人数のため旅行業者がすべて辞退された。
教職員の働き方改革の視点を踏まえ、負担軽減や職務の位置づけ、責任の所在といったものと、それに見合う手当や休暇があるのかといった検討が必要だと考える。
近場でも生徒は楽しんでいたので、それもあかなと思う。
近隣の県で実施するほうが時間と子供たちに余裕があり、充実した内容になった。
経済的に厳しい家庭のために一生に一度の体験をさせる場

経費がかさんでくることへの保護者負担をどう軽減していくか。
経費削減・コロナ対応の観点から、行き先について修学旅行の目的を達成するために適当であるかどうかの検討が必要。
見学や講義形式の活動より、体験型の活動や主体的かつ協働的に取り組める活動を多く取り入れた修学旅行を企画したいと考えている。
現時点では、使用する交通機関により、様々な制限が入る状況である。このことにより、行き先、方法等に多少の影響が出ることが危惧される。このことより、条件緩和を考えていただけるようお願いしたい。
現状、民泊を計画に入れにくい。
現状のまま、団を組んで実施するのが望ましい。
現状の修学旅行は親、生徒ともテーマパークにて楽しみたいというニーズなので修学旅行そのものがあまり必要ないと感じる
現状をできる限り維持していきたい。
現地でしか体験できないことを体験させてやりたい。
現地で何かがあった場合に、保護者に迎えに来てもらえる場所
限られた時間、経費当の制限の中、いかに生徒たちに充実感を与えることができるか。
個人的には、東北方面に関心がありますが、新たな内容・方面開拓については、相当のパワーが必要ですので、現地の方々からの誘致に関するメッセージ(案内パンフレット)の送付を期待します。
交通費、宿泊費等があまりにも高騰し、中学生の2泊3日の旅行としては、あまりにも保護者の負担が大きいに思います。小中学校(義務教育)の修学旅行については、旅行業界や行政で家庭の負担がすくなるような制度を確立してほしい。
交通費が費用の大部分を占めているので、子どもたちの有意義な活動にこそお金を使えるようなプランを工夫していくべきだと考える。
交通費や物価上昇を費用の上限に反映してもらいたい。
校内でできない体験をさせたい。
航空機利用は、発熱すれば乗れないので考えられない。体験活動の内容で考えることになる。
航空機利用は義務教育の間は適切でない。
高額を払って、集団で行く必要があるのだろうか。自校だけ、実施しないと、保護者対応が難しくなる。一斉に無しとなると問題はないかと思われる。
今までは修学旅行は行って当然の感があるが、現状のコロナ禍の中、また教員の働き改革が言われる中、修学旅行の有無も含めて検討が必要になると思います。
最近では家族旅行でたくさんの地域へ行っているの、修学旅行でしか行けないところ(見学地や体験学習)の検討をしていかないといけない。
昨今の状況で、旅行会社業者も厳しいようで、小規模校を取り扱う斡旋業者が少なくなってきた。教員だけで企画立案していくのは難しい。
子どもたちの学びにつながる旅行としていきたい
子どもたちの思い出づくりのため、現状で行っていくのが良いと思う。
市内全てで中学校で集約指定列車を利用して修学旅行を実施しているので、行先や実施時期を自由に設定できない。(例、関東や中部地方、沖縄などで行先に設定できない。)また、日程や乗る列車も一方的に割り振られるので、今年度のように「金曜日～日曜日」で設定されることもあり、週末価格で割高になったり、施設が休館日と重なり行程作成に支障が出たり、農業体験の場合は実施時期が早いため活動内容が制限されたりすることもある。また、行事の延期や中止の判断を学校独自でできないため、コロナ禍での実施について、校長会や姫路市の決定を不安な気持ちで見守るしかないときもあった。そもそも、学校行事の教育課程の編成権は学校にあるので、修学旅行の行き先や実施時期、延期や中止の判断については、学校教育目標や学校の実態に合わせて自由に決められるべきだと思う。集約指定列車は、特急料金が半額になる等のメリットもあるが、画一的、管理的で学校の独自性を発揮しにくいというデメリットもある。今は多様性が求められる時代なので、集約指定列車を前提とする今の修学旅行のあり方そのものを見直す時期がきていると思う。
指導要領における「総合的な学習の時間」について、探究のプロセスを重視した展開が示されており、大人が設定する内容を提供するだけでない学習展開が求められている。修学旅行の特性上、大人が設定せざるを得ないところも多いが、探究活動を組み入れたり、特別活動の目標とのすみわけをしたプランニングが必要となる。どの地方で何を学ぶかだけでなく、生徒にどう学ばせるのか等、指導要領に即した展開について開発していくことが求められている。
時間やお金をかけて行く割に教育効果が薄いと思います。また、引率が教員である必要がないとも思います。教員に引率させるのであれば、勤務時間を明確にし、8時間以内の勤務で行い、それ以外の時間は他の者が管理するべきだと思います。
時期もそうだが、こんなにコロナで右往左往している状態があるのに、果たして修学旅行は必要なのか？
自然体験をさせたいが医療体制を考慮すると都市部にならざるを得ないことがジレンマです。
自然体験学習を含めた体験を取り入れた活動を引き続き取り入れていくが、天候不順による代替え案の豊富にある内容で検討
300人以上の集団が同時に活動できる内容が大きく制限されるため、分割またはグループごとで効果があり目的が達成できる内容を検討
自分たちで創り上げるものにする。
実施するためのリスクヘッジが大変です。
修学旅行でしか学習や経験ができないことがあると思います。たった2泊3日も知れませんが、この経験が生徒たちにとって貴重な成長の機会だと思います。学習・体験内容を今後も精選しながら実施の必要性を感じます。修学旅行が中止や延期をせず、コロナ禍の中でも実施していけるよう
修学旅行で平和学習に取り組む意義はとても大きいと思います。
修学旅行なので、最高学年の学習のまとめにふさわしい内容であるべき。家族旅行で体験できる内容なら意味が無い。学校として、学年として集団でこそ体験できるような内容、家族では、あるいは大人になってからでは経験できないような内容を目指すべき。
修学旅行に関わりこのような詳細なアンケートを、しかも大規模に行う社会的ニーズは本当にあるのかを示していただきたい。
修学旅行の意義自体が問われつつあるのではないかと考えています。今は、各家庭でさまざまな所に旅行にも行っていて、今までのお決まりの行き先では、意義を見出せなくなるのかとも思っています。取り組みや行先など、生徒が自ら考え、学習に結び付けるなど、教師の側からの一方的な提案ではないものと考えていくことが必要かと思っています。その中で、「平和学習」など、しっかりとしたコンセプトだけは、教員の側が持つことが大切なのではないかと考えています。
修学旅行の教育的意義と経済的負担
修学旅行の実施は間違いなく現場(職員)の負担になっています。現在の働き方改革に逆行するような勤務になり、しかも年々リスクが高まっているように感じます。アレルギー対応も多くなり、引率責任が大きすぎるように感じます。
修学旅行の目的が大事だと考える。
修学旅行を含め宿泊を伴う行事のあり方を考える必要がある。(働き方改革)
修学旅行実施の判断等も含め、全てが学校現場まかせになっており、保護者対応も含め・キャンセル料負担等も自治体や市教委での介入を積極的に行うべき。
従来型の修学旅行の実施方法やあり方については、検討していく必要があると考えます。料金設定や企画料に見合う旅行者からの提案や現地での生徒にとっての快適な修学旅行となるような企画立案が求められています。旅行先と学校とを結ぶ旅行者の役割は、単に学校の修学旅行にとどまらず、将来にわたって旅行を楽しむための社会体験学習と位置づけ、また、修学旅行で体験したことが将来の職業選択や考え方に大きく影響することも考えられます。日程調整にとどまらず、斬新な企画立案の提案をお願いします。
従来通りやっていく予定である

将来的に個人旅行で行くことが安易にできる観光地や施設よりも、大人数でしか体験出来ない活動や体験施設、学習施設などに行かないと、金額に見合った旅行にならない。
上記の回答には、記入できていないが、当初2泊3日の予定であったが、コロナの関係で1泊2日となった。もう一日を当初予定していたユニバーサルスタジオジャパン(USJ)に11月に日帰りの修学旅行を実施した。今後、2泊3日が修学旅行の日程として適切かどうか議論の余地はある。
状況(コロナ感染等)に応じて実施時期や方面を柔軟に対応する必要性を感じる。
信州方面ということから、出発時間が早くなり、生徒の負担が大きい。また、教職員の勤務時間に関わってくる。また、帰校時間も遅くなることから方面について検討が必要である。
新型コロナウイルス感染症に配慮した計画になっているので、本来の旅行方面に戻せるタイミングを慎重に図る必要がある。
新型コロナウイルス感染症の対応に留意しながら、少しずつ以前の形に戻る方向になると考えられるが、並行して物価高により今後、金銭面での制限を受け、方面、内容についてより精査が迫られると考えられる。
新型コロナウイルス感染症対策をふまえた計画は大変リスクが大きく、教育的意義を鑑み必要性は十分に理解できるが、実施の是非について今後検討が必要ではないかと思う。
新型コロナウイルス感染状況次第になりますが、場所よりも目的や内容に重点が置かれるようになると思います。
新型コロナウイルス対策をとりながら、キャリア教育につながるような体験活動を導入していく。
新型コロナの感染状況を注視しながら、修学旅行を先実施時期等をコロナ前の状況に戻していく予定である。
新型コロナ感染拡大中での実施だったため、どのタイミングで延期するか、その時のキャンセル料について、また、延期したときの費用や対応について知りたい。
生徒1人1人の個別の対応が必要になってきており、それが可能な内容に変化させていかなければいけないと感じます。
生徒がいかんして主体的に関わっていけるか
生徒が主体的に計画し、活度ができるもの
生徒にとって思い出深いものにする
生徒の学習活動と整合した形で(延長線として)の修学旅行の実施
生徒の主体性が活きる修学旅行を目指していきたい。
生徒の主体的な取り組みを大切にできるような活動内容にしていきたい。計画立案、現地での活動、集合場所の検討など。
生徒や保護者のニーズ(アレルギー、特別な支援等)やコロナや地震などの天災などの対応が多様化複雑化する中で、安全に実行できるかどうか不安に思います。これから先、実施そのものを検討する必要がありそうです。
生徒主体によるルールづくりの推進
戦争のリスクが高まってきたので、平和学習を再度見つめ直す必要があるかと思っています。
総合学習との連動
総合的な学習の時間に探求を深めるための修学旅行という位置づけで、エンターテイメントではない内容で考えたい
総合的な学習の時間の探究活動の一環としての位置づけの徹底
総合的な学習の取り組みなど3年間を見通して、修学旅行で集大成となる計画が必要ではないか。
体験活動を重視するあまり、アクティビティに偏重しているように感じている。本来の観光、歴史や文化施設を見学/体験する貴重な機会でもあるので、様々な要素を盛り込みながら、思い出に残る修学旅行を構築できればと思っている。ただ出かけて、体験して、楽しかったではもったいない。体験活動重視から、総合的な学習としての位置づけを重視して内容を見直す必要がある。修学旅行を含めた、総合的な学習を軸としたカリキュラムプランを検討していく。
体験型、課題解決方の修学旅行になっていけば良い
大切な行事だが、取組に係る教員の負担が大き過ぎる点の改善が必要
単なる旅行ではなく、修学旅行でしかできない貴重な体験をどのようにすれば費用を抑えながらプログラムに取り入れることができるかということ。
回を組むことでお願いしたい。
地元では体験することのできない「こと」、「もの」を味わえるような機会にしたい。また、友人同士や家族との旅行では立ち寄らないような場所を選んでいきたいと思う。行程や活動の内容にも十分な意義づけをしたうえで、子ども達にとって、十分な学びの機会となる旅行を企画していきたいと考えている。
中学校時代の大切な思い出作りという点は変わらないでしょう。あとは、現地の人々とのふれあいを体験させてあげたいところです。今回、民泊が実施できず残念でした。しかし、去年も一昨年も実施できなかったことを思えば良かったと言えるでしょう。帰ってからコロナ感染者が続出し、学年閉鎖となりましたが、保護者の苦情は(聞こえてくる範囲では)一切なく、よく実施して下さいと有難うございますというものでした。悩みながらの実施でしたが、やって良かったと思っています。
通常の学校教育と連携して、修学旅行で何を学ぶのかを明確にして実施する必要がある
東京は、遊びの旅行になってしまっているので、平和学習や体験学習を入れた本来の修学旅行に戻したい。
特別支援学級生への支援と配慮
日常できない体験を基に、調べるなど探究活動をして、地域や後輩、自分自身が成長できる発信を行うこと
日常生活で体験ができにくい分野を考える。また、短期集中で取り組める内容を考える。
日数、方面、金額の負担軽減
日本の首都に行ったという経験を大切にしようとする修学旅行
費用が高くなることと保護者が現地に引き取れることできる距離など、アフターコロナの修学旅行を考えていく必要がある。
費用が増加傾向にあるため、それを抑える修学旅行の在り方を考えていく必要がある。
費用に対する支援が必要である。
費用の値上がりで内容を見直さなければ予定内の金額には収まらないようになっていく
費用面をできる限り抑える
姫路市は旅行団としてJR団体列車を利用している。4月後半に35校が5~6班に分かれての出発となる。1週間で、すべての学校を出発させたいが、JRの規定により水・金曜日は集約列車の運行はしない。ゴールデンウィークに係る集約列車は出せない。などの制限があり、日程調整に苦慮している。この条件の緩和をお願いしたい。これが困難であるなら、今後、姫路市旅行団として今後の修学旅行の在り方について考える必要がでてくる。ご理解とご検討をよろしくお願いいたします。
普段できない体験活動を残していきたい。
普段体験できないことが体験できることを重視している。
物価に対応した修学旅行金額の設定が必要だと思う。集約列車について、延期した場合の対応をお願いしたい。
物価も高騰しコロナ感染などを考えれば、集団で旅行する意味があるのか疑問である。
物価や経費の高騰の影響を受け、行き先や期間、目的などを抜本的に考え直さなければならない時期にきていると思う。
物価高騰により交通費・宿泊費・食事代などあらゆるものが値上げされている。修学旅行もその値上げの波を受けて、費用が膨れ上がっている。義務教育の学校としては保護者負担をできる限り削減することが命題であるので、これまでのように満足ができる修学旅行自体を企画できるかどうか大きな課題である。

平和学習では、戦争経験者の語り部が少なくなり、生徒の中に強烈に印象付けられる機会が減ってきている。いかに平和学習を印象深いものにしていくかが課題である。民泊を通して、人の強さや優しさに触れる機会を増やしていくことも必要である。
平和学習と自然体験学習は必ず実施して、普段経験できない魂を揺さぶるような経験をさせたい。
平和学習やSDGsについて しっかり学び・体験できる修学旅行にしたい。
平和学習をメインに考えた修学旅行の計画
平和学習を中心とした取り組み。仲間づくりを中心とした取り組みとしたい。
平和学習を入れていきたい
変更可能な計画が必要。
保護者に迎えに来てもらうことも考えて、家から宿泊地までの距離、さらにはレンタカー代や隔離時のホテル代など保険の適応範囲を再考する必要がある。
方面にもよるが、必ずしも2泊3日が必要かどうか検討してもよいのかもしれない。
本校では生徒に何を体験させたいかを全教職員で検討を行った。平和学習と体験活動を重視することとなり、その目的を達成する場所として沖縄県が最適と判断した。
本当に修学旅行が必要かどうか。
民泊や各種体験活動が主流になってきているが、今回の感染症などによる受け入れおよび実施が不可になった場合の別案を常に講じておく必要がある時代になってきたように感じます。また、自主研修やホテルでの集団生活等の指導を必要とする場面が減ってきたため、これまで修学旅行のような特有の学習場面でつけてきた集団行動等に対する教員の指導力衰退が懸念される。民泊や体験にゆだねることで、生徒の出会いや経験は豊かになるが、指導場面の減少による教員の指導力衰退は逆行するため、なかなか難しい問題だと感じています。
役割を終えているという側面もあると思う。誰のための、何のための修学旅行なのかを再考してもよいのではないかという意見が校内であった。
予算の上限があるため、物価の上昇や各家庭の経済的な負担を考えると、修学旅行の本来の在り方を考える時期に来ているのではないか。テーマパークは生徒にとっては魅力的であるが、宿泊施設や食事、また体験活動など考えると予算上、今後の検討課題である。
旅行意義の再確認 / 活動内容、方面の見直し / 経費の上限
旅行社が小規模校と契約しないようでは教育旅行社とうたう資格があるのか。
旅行先で病気や怪我が発生したときの対応。特に保護者への受け渡しが起こることや、現地の病院への入院、感染症の集団感染が起こりえることは想定しておかなければならない。

3- (2) 修学旅行において工夫や配慮した点について

コロナ感染対策のため、現地で体調不良の生徒が出た場合保護者に迎えに来てもらえる場所(交通機関を含む)に変更をした。従来の沖縄からの変更のため平和学習が活かせるような場所に配慮した。コロナ感染対策のため、事前の健康観察、現地での感染対策を徹底するように配慮した。
「自然体験を通じて自然環境などSDGsに関心を深める」テーマで臨み、近隣の行き先ではあったがあえて派手な施設を選ばず企画の中身で勝負する方向で準備を進めた。これにより、行く前には不安を持っていた生徒も現地で日ごろ体験できない企画に触れたことで、帰ってきてからの生徒と保護者の反応が、不安から充実感に変わったことが印象的であった。
タクシーを利用した長崎市内班別研修
クラス別に分宿を行ったことで、それぞれのクラスの活動や過ごし方にゆとりを持つことができた点。
コロナ感染対策ありきで全ての行程を計画
感染症対策を考え、全クラスが集合しての食事を避け、2会場に分けて、座席を離れた形で会食。バイキングやBBQは無しとした。
航空機利用を考えていたが、サーモグラフィーなどによる検温など、対応が複雑なため、また、保護者の引き取りなど難しいため変更した。
新型コロナウイルス感染症に係る対応の一環として、修学旅行の目的を充足する候補地のうち比較的本市から近いところを選定しました。
新型コロナウイルス感染症対策の徹底。罹患者が出た場合の対応を想定した準備。
普段なら班別で都内観光をさせていたが、コロナ禍であり、大江戸案内人を各班につけ、教師が同行した。マスクを外すことや、人混みでの感染対策に目が届くように配慮した。ただし、その分だけ費用がかさんでしまった。
部屋を二人部屋になるホテルを捜してもらった。(できるだけ少人数)
保護者が迎えに来てやすい範囲であること。感染症のリスクを下げるために公共交通機関を利用しないこと。
連休後の実施のため、3年生のみ当日まで1週間程度の部活動停止を行った。
感染防止及び感染発生後の対策・対応 / 今年度、体験学習は体験種目により金額が異なりますので、生徒一人当たりの修学旅行費は異なります。上記の修学旅行費に各自の体験費用が追加されます。
1.2年生野外活動・校外学習が中止であったので、複数の地域(四国+α岡山)を回れるよう工夫した
7クラスに対してバス10台 / 連泊(感染防止対策の一つとして、部家のメンバーを2泊とも固定)
キャンセル料がかからないギリギリの期間での判断(基本的に市がキャンセル料負担の対応を提示してくれており、助かる。) / 現地での陽性者発生時の保護者迎えの費用対応(保険)
コロナウイルス感染症感染防止対策と生徒の充足感と満足感への配慮
コロナの状況を考えて、集団が密にならないように行程などに時差を付けるなど
コロナ禍のため、費用はかかるが、保護者に説明をしてコロナ対応の保険にも加入した。また、班別研修もタクシーを使用し、対応に努めた。少人数のため、軍艦島クルーズと上陸を企画した。
コロナ禍でほぼ校外学習や体験学習を行っていないことの配慮 / 総合的な学習の時間としての授業計画
コロナ対応による保護者説明をおこない、コロナ保険については保護者の任意とした。
1ヶ所(県)に集中しないように / 民泊は問題が多いので避けた
学習内容と体験活動を予定に入れること。
感染症拡大により、1・2年生の泊を伴う行事が中止され、生徒にとっては、初めての泊を伴う行事となった。まずは、無事に実施できることを最優先とした。
看護師の派遣、帯同 / 新型コロナウイルス感染症に係る事案(中止・延期・キャンセル料・入院費等)に対応した保険加入
現地で体調不良生徒が出た時の対応
昨年度から、現地で看護師を調達・配備した(保護者負担)
参加する生徒と教職員を対象に、出発1週間前にPCR検査を実施
車イスの生徒の活動内容
修学旅行中にコロナ発症した場合の対応 / 保険への加入(コロナ対応) / 部屋数をできるだけ確保し1部屋の人数を減らす / 体調不良者を隔離するための部屋を増やす

出発直前までの生徒の体調管理 / 食物アレルギーの生徒確認及び対応 / ・新型コロナウイルス感染防止対策 / 新型コロナウイルス感染拡大によるキャンセル対応保険加入への保護者説明
新型コロナウイルス禍の中の修学旅行を、保護者や地域の方々はどう理解していただくか苦慮した。 / 新型コロナウイルスに対する感染防止対策を、どこまでやればいいのか苦慮した。
新型コロナウイルス感染症の影響が出て、実施可能な計画にしたこと。
新型コロナウイルス感染症の拡大に備え、予め予備日を9月に設定していた。 / キャンセル料の取り扱いについて取扱業者や教育委員会と交渉を重ねた。
新型コロナに係る保険をかけ、安全で安心な修学旅行にしていけるよう保護者の理解を得る。
生徒の活動が中心となるよう旅行内容に配慮した。
台風や自然災害等で移動手段が絶たれた時の対応 / 現地でのコロナ感染症による対応
地域の文化・自然等の特色が学べる体験プログラムを取り入れる。 / 感染対策や、生徒対応。
当初予定していた日程はキャンセル料発生期限が前年度末だったこともあり、その時の新型コロナの感染状況から、今年度は春に「日帰り」秋に「1泊2日」の計3日とした。急病人対応のため、看護師に同行を依頼した。新型コロナ対応として、ホテルや体験先と密に連絡をとった。
発熱や体調不良を起こしたときに対応できる距離にある旅行地を選定した。消毒液を携帯しいつでも消毒できる体制を整えた。
平和学習(市内班別研修)に、現地ガイドの活用 / 新型コロナ等で、保護者の迎えが必要になった場合を想定し、陸路で行ける地域を選定した。 / 新型コロナ対策として、宿泊部屋は、全て2人部屋とした。(ツインに簡易ベッドの3人部屋は設定しない)
平和学習ができる都市であること。 / コロナ対策として、万が一保護者が迎えに来る際のアクセスが良いことに配慮した。
保護者に生徒を車で迎えに来ていただきやすい距離。 / 検温、健康観察を細かく実施。 / 手指のアルコール消毒の徹底。
密にならないように、大きいバスに乗車 / バスに乗車する度に、手指消毒
民家体験は泊を伴うものだったが、コロナの感染防止のため、ホテル泊に変更した。
旅行先で新型コロナウイルス感染症に感染した場合の対応 / 旅行先で新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者に特定された場合の対応 / 旅行前後の体調管理 / 万一の状況に備えた保険加入(市教育委員会の財政支援あり) / 様々な状況を想定した上での保護者説明会の実施
旅行直前に生徒が新型コロナウイルスに感染した場合のキャンセル料について / 旅行中に生徒が新型コロナウイルス感染症を発症した場合の保護者の迎えについて / 旅行費用を可能な限り抑え、保護者負担をへらすこと
行き先が大きく変わったので、それまでの取り組みが少し残念に思えた。そのため、目的地までの距離をしっかりと考え、体験学習を多く取り入れた。
1・2年生で宿泊行事をしていない分、野外活動のような体験(マリンスポーツ)も取り入れた。
①コロナ対策、②費用の高騰を抑えるため公共交通機関を利用
1年次から、コロナの影響を踏まえて、熊本になっても、大阪になってもいように事前学習に取り組んできた。
2泊3日を1泊2日に変更したので、できるだけいろんなところに、そして楽しいものになるよう日程を組んだ。コロナ対策で、マイクロバスから大型バスに変更した。
2泊から1泊にした。
2泊させたかったのですが、とにかく無理のない行程になるよう配慮した。
3日のうち、残念ながら2日、雨天であったが、生徒達が、泊付きの修学旅行に3年ぶりに行けた事に大変喜んでくれ、どのイベントも楽しんでくれて助かった。保護者からも修学旅行に連れて行けた事で、一切、クレームがなかった。事前に保護者には、同意書も取り、万全を期した。
3密を回避すること。交通手段
LGBTを疑われる生徒への対応
SDGsをテーマに、現地で学べることを組み立てていったが、なかなか難しいところがあった。SDGsをテーマに探究的な展開にできるよう、地元と協力して開発できたことは生徒の学びどなった。
アレルギー対応食の必要な生徒が多く、生徒、管理職、教諭、添乗員で4回のチェックをして誤食のないようにした。
クラッチ使用生徒や車椅子使用生徒が居たため、活動、移動手段、ホテルなどにてバリアフリーを重視した。また、コロナウィルス対策としての食事環境も配慮した。
コロナウィルス感染拡大防止に留意し、行事を実施できることを最優先した。
コロナウィルス感染症対策について配慮した。(食事時のパーティション、接触が密なる体験活動の見直し等)
コロナウィルス感染対策、罹患した場合の入院や帰宅についての確認など
コロナウィルス感染対策の観点から屋外の体験活動を中心にした
コロナウィルス対応としてバス移動とし、公共交通機関の利用は控えた。
コロナウィルス等による発熱時、保護者が迎えに来ていただける方面。
コロナが心配であり、修学旅行の次の日から学校の休み(ゴールデンウィーク)に入るようにした。
コロナキャンセル料保険に加入 / 例年民泊を行っていたが、感染状況等を予測し計画の段階から民泊をやめた。
コロナなどの対応についてさまざまに方策を練り、保護者説明会でも説明した。
コロナによるキャンセル時の保険の手続きパターンに苦慮した。
コロナに感染した場合に対応しやすい場所。体験活動を重視した場所。
コロナの影響が大きくならないよう、すべて貸し切りバス移動とした。
コロナの影響による方面の変更
コロナの予防。食事・バスの中での過ごし方。
コロナリスクが比較的低い場所の検討を考えた。
コロナ禍での実施ということで、感染予防対策に骨が折れました。活動のたびに、消毒、黙食などなど、活動も基本的に班行動とし、可能な限り最小単位で実施しました。
コロナ禍での実施であり、緊急対応が必要な場合も想定して、引率の人員であるとか、旅行先の感染状況の確認であるとか、木を配ることが多かった。
コロナ禍での体験活動の重視。
コロナ禍でもあり、民泊とマリンスポーツをやめ、むら咲むらでの体験活動、ホテル泊に変更した。体力的にも負担を軽減したためか、旅行中乗り物酔い以外の体調不良者は出なかった。
コロナ禍で実施可能性の高いプログラムをできる限り考えた。
コロナ禍で拍を伴う行事が実施できなかった学年なので、できるだけ生徒の希望に沿うようにした。
コロナ禍で旅行中に発熱等の症状が出た生徒の保護者の迎えが可能な距離・時間になるよう考慮した。
コロナ禍とあって当初は一泊は、民泊体験と考えていたが、クラスごとの分宿で対応する。
コロナ禍にあり、何かあった時にすぐに対応できるように、旅行先を近畿地方にした。
コロナ禍において、当初予定していた方面から変更を余儀なくされたため、近畿圏内で生徒が楽しめることに重きを置かざるを得なくなった。

コロナ禍において一人でも多くの生徒が参加できるよう、保護者の理解を得ることも考慮して、飛行機での旅行はバスのみによる旅行に変更して実施した。
コロナ禍における対応(日本全体がわずか数か月で状況が変わる中での、長期にわたる準備期間に紆余曲折があった)
コロナ禍による保護者の意向
コロナ感染を考慮して、実施可能なプログラムを優先して計画した。
コロナ感染時の対応(方面・距離を保護者対応等が可能なものにする、発生時の病院への搬送や対応 等)
コロナ感染者が出た時を想定して、行き先を決定した。
コロナ感染者が出た場合の、職員の動きを予めシミュレーションした。
コロナ感染症の影響で、一度も宿泊を体験せずに3年生になった学年だったので、本来野外活動で経験している自然体験などもプログラムにいれた点。
コロナ感染症の対応を旅行業者と詳細に打ち合わせをした。
コロナ感染症対策におけるバス乗車人数を減らし、台数を倍増した。
コロナ感染症対策を講じながらの活動となった。(食事会場・食事方法・大浴場回避; 部屋風呂個人利用・班別行動の回避等々)
コロナ感染症病者が発生した場合の保護者との連絡の取り方と引率者の体制
コロナ感染状況によって、計画変更の可能性があることを考慮して、代替え案を用意しフレキシブルに対応できるようにした。また計画変更による経費の増大にならないよう配慮した。
コロナ感染対策として、移動手段は1学級1台のバス、屋外での体験を中心に行う。
コロナ感染対策については、旅行業者と打ち合わせ、関連施設、交通機関等への確認。感染者が出た場合の対応など。
コロナ感染対策のため、公共交通機関を使用せず、バスでいける場所に変更した。また、宿泊数も2泊から1泊に減じた。
コロナ感染対策の徹底、活動内容、緊急時の対応、帰宅後の健康観察、感染者対応
コロナ感染対策もあり、学年全体での交流会や集会等を極力避けて、学級単位の取組を主体とした。宿泊についても、ペンションに分宿という形をとった。結果、学級単位での親睦が深まり、感染対策と同時に学級単位での結束が深まることにつながった。
コロナ感染防止対策として、1泊2日の春の旅行と、日帰りの秋とに分けて実施した。
コロナ感染防止対策を講じながら可能なかぎり体験的な学びの機会とする。
コロナ感染予防の観点から、安全を最優先として計画を見直した。
コロナ感染予防対策と保護者への説明
コロナ関係で全行程をバス移動としたため、学習地や見学地、体験内容に余裕を持って計画した。
コロナ対応。特に保険が陽性者のみ適用されるものしかないため、不参加でも費用負担が生じることについては、対応が厳しい。(実際に本校では該当者はなかったが、直前まで体調不良者があったため、あらゆる想定をした上での対応を強いられた。)
コロナ対応ができるように、車で送迎できる場所として沖縄から変更した。
コロナ対応で、宿舎からの配茶ではなく、PTAより、活動中の水分(ペットボトルのお茶)を用意していただいた。
コロナ対応での動きやすさを考え、近畿圏内で計画し直した。
コロナ対応で再検討する中でも、内容の濃いものにできた。
コロナ対応で時期の延期をした
コロナ対応で食事や入浴の仕方の工夫 / 分ける、個食配膳など
コロナ対応として、万が一の場合保護者の送迎ができる地域を目的地とした
コロナ対応など不測の事態に備えて、校長が自家用車で参加した。
コロナ対応における保険適用の拡充。
コロナ対応における保護者への理解
コロナ対応に関わって、保護者に来てもらうことを考えて、車移動できる場所に変更した。
コロナ対応に苦心しました。(実施時期や発生時の対応)
コロナ対応のための保険加入。コロナ対応で、ホテル、バス、施設との打ち合わせと対処について。
コロナ対応を加味した旅行計画
コロナ対応を考えホテル連泊 / 本校校区の実態に合わせた防災学習 / 生徒会交流を行っている、武蔵中学校訪問と交流会 / タブレットを活用した班別研修
コロナ対策 感染した場合に保護者に迎えに来てもらえる範囲や手段
コロナ対策(団体での活動を減らし、小グループでの活動を増やした / ホテルや新幹線において隔離する部屋や座席を確保した / 健康観察を念入りに行った)
コロナ対策(バス内での活動なし。ホテルでの食事の際は全員前向き等)
コロナ対策(保護者の送迎のできる場所)
コロナ対策、個別のアレルギー対応(主に食事)
コロナ対策で少人数でのホテル宿泊ができるようにした。
コロナ対策として、クラスに1台のバスに分乗し、間隔をとる座席にした。
コロナ対策として、宿舎をホテルにし1部屋の人数を減らした。コロナ対応の保険に加入した。
コロナ対策として学年で取り組むレクレーションのために会館ホールを借り切ってクラス毎のステージ発表を行なった。
コロナ対策として行先を変更した。
コロナ対策と都内班別行動に代わる内容。
コロナ対策については、保険等の加入や保護者の迎え等を考慮したい。
コロナ対策のため、保護者が陸路で迎えに来れる範囲内で行き先を考えた。
コロナ対策のため、民泊をやめて、宿舎泊に変更した。体験学習をたくさん組み入れた。
コロナ対策は特に配慮して計画・指導した。
コロナ対策もあり、近隣の県を目的地に変更した
コロナ対策を徹底した。保護者が緊急時に対応できやすいように、自家用車で迎えに来れる距離に設定。公共交通機関を利用すると濃厚接触の生徒が利用できなくなるので、往路・復路ともに貸し切りバスを利用した。平和学習、世界文化遺産、体験学習を盛り込み、学びの多いものにした。
コロナ対策予算で1クラス1台バス利用。密の回避を実施。
コロナ対策用の保険を利用した。円卓での食事方法(黙食、配膳方法)
コロナ等での緊急時の対応として、方面を例年の信州から四国へ変更した
コロナ発症の際、保護者が迎えに来やすいように、場所を岐阜県にした。

コロナ保険への加入の是非
コロナ保険加入
コロナ陽性者が判明した時の対応がしやすいことを考慮し、行先を検討した。
シンプルイズベスト(指示は短く簡潔に)を常に意識した取り組みをしました。
すべて貸し切りバス移動かつ保護者迎え可能範囲を方面にしたこと。生徒数が多いため、2つの宿舎を貸し切りで利用できたこと。
とにかくコロナ感染に関わる工夫や配慮が本当に大変だった。
なるべく自由度を高くした。
バスでの往復 / 保護者が自家用車で迎えに来られる距離 / 人混みを避ける / 平和学習ができる / 体験学習ができる
バスで片道4時間程度の行き先候補地で、体験活動が出来る場所を考慮した。
バスの乗車人数 1部屋あたりの宿泊人数 食事会場の感染対策 体調不良者の対応
バス内の密を避けるため、市よりの補助でバスを増便した
バス利用で、何かあれば保護者に迎えに来てもらえる場所にした。
広島での平和学習を被害の視点と加害の視点から学べるよう工夫した。
プログラムをつめすぎ、ゆとりのある行程にし、体調不良者が出ないように配慮した。
もともと民泊を考えていたが、感染症予防対策として、民泊を選択した。
安全、安心の行事であること。
依然としてコロナ対策は念入りに行った。
移動距離、移動時間の短縮 / 食事時、入浴時の感染症対策
移動時間を短くするために、比較的近い場所を選定した。また、宿泊に関して1日目民泊・2日目貸し切りホテルにすることで、他の学校の生徒と接触する機会が極力ないことを条件にしていた。
移動方法や配慮を要する生徒への対応
一泊の計画の中での思い出づくりと学習内容。
一番手厚いコロナ保険に加入した
延期になったので、さらにコロナで延期になる不安。再延期になっても同じ場所、同宿舎連泊。
沖縄からの方面変更で。事前学習の内容を活かすための工夫を考えた。
沖縄の予定を長崎に変更したため
沖縄方面から新型コロナの影響で変更したため、岡山でも平和学習ができるように工夫した。
音楽コンクール、文化祭、中間考査、体育会と行事等が集中している中での準備が難しく、取り組む時間をなるべく短縮して行った。
価格を下げるため連泊 / 班別学習は1日フリーバスで公共交通機関
海の体験
各クラスごとに1台のバスで往復 ホテル連泊で移動時間の短縮とコロナ対策として同室者を固定 ゴールデンウィークまでに実施することで、コロナの第7波までに実施
各生徒に消毒液・マスクを配布。宿舎レクは短時間で実施。
学校が講じる新型コロナウイルス感染防止対策。新型コロナウイルス感染防止に対する保護者理解や協力を求める対応。
学習の機会の確保
学年の実態にあわせ、新潟での体験活動中心に考え実施した。生徒も喜んでいたのでよかったと思う。
学年全員で取り組める活動、及び活動場所 / 移動時間の短縮
感染リスクを下げる
感染リスクを考慮して貸し切りバスで往復した。
感染拡大対策として、クラスごとの民泊とするなど、できるだけ生活単位をクラスとした。
感染症のリスク対策 食事や活動
感染症の予防のため、自然体験活動を中心に行った。
感染症対応のため、現地での緊急自動車として校長が自家用車で伴走した。
感染症対策、移動中の過ごし方
感染症対策。特に、食事の仕方。
感染症対策と活動プログラムの充実
感染症対策と現地でコロナに感染したときの対応。
感染症対策に一番配慮した。
感染症対策に気を付けた。行き先が例年と違うため、安全面などの配慮をした。
感染症対策に気を付けた内容にした。全行程をバスにした。連泊でリスクを減らした。
感染症対策を講じた体験活動の実施
感染症対策を徹底した。
感染症対策及びそれに伴う緊急対応
感染症対策及び保護者説明
感染症予防のため市が追加のバス4台分の補助金を出してくれた。
感染対策として宿舎の食事場所を2か所確保し、間隔をあけるよう努めた
感染対策については特に配慮しました。
感染対策のために出納の持参ではなく、ペットボトルでの飲料水配布 / 各自での感染対策の事前学習
感染対策また感染した場合の対応
感染対策をとりながら、今までと同様の活動を行うか。
感染防止の観点から公共交通機関を利用しない。
感染時に保護者のお迎え可能な範囲とする。
感染防止対策として貸切バスでの移動。行先は近隣の府県。
感染予防、対策 / 緊急時のお迎えのしやすさ
感染予防に配慮して、ホテルの一部屋あたりの収容人数を減らした。
感染予防のため、公共交通機関の利用をさげ、借り上げバスで実施した。コロナ感染による急なキャンセルに対応できる保険に加入した。

感染予防の配慮を徹底した。生徒の安心・安全を考え、食事会場の工夫をおこなった。熱中症対策として、水分補給のタイミングを修学旅行中に増やした。
感染予防及び、緊急時の対応
急に参加できなかった場合のキャンセル料金
教育委員会の通知文に基づいた感染症対策を講じて実施した。
緊急時に保護者が迎えに来てもらえるように、陸路、近距離で行程を決定。活動場所、宿泊地でのコロナ対策の徹底。
緊急時に保護者の迎えが可能な範囲での目的地変更
計画段階から、民泊をやめ、2泊ともホテル泊とした。
現地(沖縄)でレンタカーを借り、発熱等、体調不良の生徒が出た場合の対応に備えた。
現地でコロナ感染が発生したときの対応
現地での判別自主研修を実施するにあたり、事前学習の時間を十分に確保し、生徒の自主性を尊重した。
現地で感染症等が発生した場合、保護者の迎えが来ることができる範囲内で実施した。
現地で看護師の同行を依頼
現地で発熱した場合、保護者に迎えに来てもらえる場所
個別に満足度を高める
交通機関をコロナ対策として、全てバスで移動した。
公共の交通機関を使わなくても、貸切バスだけで旅行ができる工程を選択したこと。
行先、時期を変更する場合、可能な限り早期に行い、宿泊先、移動手段の確保に努めようと考えていた。(実際、変更することにしたが、前年度1月末には確定した。)
行先の変更 / 現地での感染症の対策
最低限のコロナ対策。対策が重視されすぎないようにした。
細かなきまりなく、考えて行動ができる機会を増やした
参加人数が比較的宿舎いので、費用を少なくすること。対人の接触を少なくし、常に手指消毒をする等、コロナ感染リスクを下げる。アレルギー対応。
支援学級生徒(2人)の対応に、マンツーマンで介助員(2名)をつけていただいた。これまで介助員が同行するケースは無かった。
施設利用時、市内他校と日程調整を行った。
時間、感染対策、費用を考え、かつ、生徒の自主性あるプログラムの考案
時間の許す限り、さまざまな体験を盛り込んだ。
時期、安全、コロナ対策
時期の変更、リスクに対する保険加入
時期を早め、コロナ感染のピーク時からずらす工夫
自治活動の充実。非日常体験活動を取り入れること。(民泊や体験学習)
自然体験を希望制にし、生徒の参加意欲が高まった / 新型コロナウイルス感染症対策を実施(バスの台数増加(市教委負担)、集会を制限(人数、時間))
鹿児島市内班別自主研修
車イスを利用する生徒のフォロー
車イスを利用する生徒への配慮(体験学習など)
車椅子で移動できるように配慮した。
若狭美浜はあとふる体験は、地元の方とのふれあいあり、豊富な体験プログラムありで、たいへん満足できました。
修学旅行先での新型コロナウイルス感染症対策及び感染生徒が出た場合の対応
修学旅行中に、引率教員のコロナ感染が判明した。食事場所での感染拡大防止のため、座席の間隔を取り広げたり、食事時間に時間差を設けたりする等対策を取り、その後の行程変更は最小限に抑えた。
暑さ対策
小規模の学校でも、楽しく学習できる内容にすること。
少人数だからこそ楽しめる施設を取り入れた。
少人数で、かつアウトドアで取り組める体験活動を多く採用した。また、密を避けるためにできるだけ開放的なペンションでの連泊にした。
少人数であるため生徒一人当たりの旅行代金が高くないように配慮した。
上記の、感染症や経済的な問題が大きくなってくると考え、その対応や家庭の負担を軽減できるように中学生の修学旅行であっても、1泊2日を継続するように決定しています。加えて、教員の働き方いかくによる負担軽減は必須であり、2泊より1泊の方が、計画の段階から労力が軽減されると考えています。生徒についても集団不適應や、起立性調節障害などの精神的な問題、状態的に服薬が必要など、様々な特性をもつ生徒が増加し、宿泊を伴う行事に合わない生徒も増えてきています。
職種や朝の検温で密にならないよう、集合となる場面を減らした。
食事会場に全員が入らないため、時間をずらして行った。
新幹線内での飲食に関するルールの徹底
新型コロナウイルスによる影響を最小限にとどめつつ楽しむことややりがい、達成感を最大にできるようにこれまでの枠にとらわれずに行程を一から考えた。
新型コロナウイルスの感染状況に注視しながら、時期・場所・活動内容について幾度となく検討を繰り返した。
新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、できる限り感染者数の少ない地域を選んだり、体験内容や時間帯を工夫したりするなどした。
新型コロナウイルスの感染防止対策の徹底を図った。
新型コロナウイルスの流行で、実施の延期が余儀なくされた場合に備え、年間行事予定の中に延期した場合の行司設定や学校全体としての協力体制をとった
新型コロナウイルス感染症による中止に備え、公費でキャンセル料金などに対応できる保険に加入した
新型コロナウイルス感染症に対する事前指導と現地対応
新型コロナウイルス感染症のため、1泊としバスのみの移動に変更する。
新型コロナウイルス感染症の影響で、1年生の当初予定から行先等が変更になり、総合的な学習と組み合わせで生徒がプランニングするという形で実施した。生徒がグループで行先等を調べ、プレゼンし、最終決定するなど、生徒にとって学びになったと考えている。
新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえた時期の検討。行き先に応じて、体験活動を充実させること。市教委の方針により、往復貸し切りバス利用であったため、バスレクを充実させるための生徒実行委員会の開催。

新型コロナウイルス感染症の感染者が出た場合の対応について苦慮した。実施前の場合は中止(キャンセル)の対応、実施中は、保護者による迎え、隔離施設へ収容された場合の対応など多くの不安があった。幸い実施前、実施中にそのようなことはなかった。
新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を旅行会社や宿泊施設等と入念に打ち合わせを行った。
新型コロナウイルス感染症の広がりが心配されたので、バス移動できる行程に変更した。
現地の人や他の旅行者との接触を少なくする行程を心がけた。
新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、日程・行き先・行程を決定した。また、感染症対策の徹底を図った。
新型コロナウイルス感染症の予防を徹底した。平和学習と体験活動のバランスを考慮した。
新型コロナウイルス感染症の流行以来初めてのコロナ禍の中での箔を伴う旅行ということで、感染症対策や生徒一人ひとりへの配慮、集団規律、安全確保
新型コロナウイルス感染症他策として、バスの貸切及び班別行動を中止した。
新型コロナウイルス感染症対応として、全行程を貸し切りバスで移動を行った。また感染の疑いのある場合に、自動車等による移動が可能な距離にある行先を設定した。
新型コロナウイルス感染症対策として、バスの台数増および保険加入
新型コロナウイルス感染症対策のため、密を避けた宿泊、活動、食事の徹底。
新型コロナウイルス感染症対策や特別支援学級生徒対応のため貸切バスを利用したこと。
新型コロナウイルス感染症予防のため、消毒や三密の回避など。
新型コロナウイルス感染症予防のための生徒の動線
新型コロナウイルス感染症予防対策と現地で万が一感染者が出たときの対応についての教師集団と添乗員との意思統一。
新型コロナウイルス感染防止対策、食物アレルギー対策
新型コロナウイルス感染防止対策、保護者が迎えに来ることができる方面と距離
新型コロナウイルス対応保険をかけたこと。
新型コロナ感染症でのクラスター等起きないよう、手指消毒の徹底等基本的な対策を実施した。結果クラスター等は起きなかった。
新型コロナ感染症の予防と、り患した場合の対応について、業者と綿密に打ち合わせた。
新型コロナ感染症対策のため、民泊を日帰りに、また、対策のできる施設に限り実施した。
新型コロナ対応のため、緊急の場合、保護者の迎えをお願いしている。したがって、保護者の迎えが可能な範囲での計画となる。
新型コロナ対策のため、航空機を利用する沖縄から新幹線利用の福岡・長崎に急遽変更した。航空機は空港で体温チェックもあり、病気の疑わしき場合はその場・現地で足止めになる生徒が出てくる可能性があるため、航空機は修学旅行の利用に合わないと考えている。
新型コロナ陽性者または濃厚接触者の発生時における対応
人間関係
生徒が楽しめる行程
生徒が感染した場合の対応について、事前にマニュアルを作って趣味レーションした。実際に、初日に感染者が確認されて保護者の送迎を依頼した。この場合、移動時間の関係で、4時間前後で移動できる地域に限定された。
生徒が主体的に取り組める活動内容、生徒実行委員の役割の充実
生徒たちが大阪では体験できないような活動が中心になるように配慮した。
生徒の主体的活動
生徒を飽きさせない工夫を先生方にしっかり考えてもらった。特に、近場でも楽しめることがたくさん見つかった。
生徒主体による、プログラム及びルールづくりを行い、生徒の思考活動を重視した。
全ての行程がバス移動なので、移動時間をできる限り短くするように計画を立てた。体験活動に時間をできる限り多くとるようにした。
全行程バス移動
全行程バス移動。1泊。体験活動を多数すべて別地域に分配。
総合的な学習の時間で取り組んできたSDGsについて、同じくSDGsに力を入れている富山市の職員の方々に対してプレゼンテーションをした。
体験とマナー講習を入れて、1泊にしたこと。
体験学習の充実、自主的な班活動
体験活動(陶芸・防災学習等)を多くとり入れた。
体験活動を多く取り入れた
体験活動を中心としたプログラムを取り入れた。
体験活動等個人選択の幅が広がると料金に個人差が生じるため、できるだけ全体で体験できる活動を中心とした。
体験的な学習(陶芸体験)
体調の悪い生徒やアレルギー対応について保護者と連絡を密に行った。
体調不良者が出た場合を想定し、往路を航空機、復路を新幹線とした。
体調不良生徒が出た場合の対応を考慮し、現実的に保護者が迎えに来ることができる距離等を優先して行き先を四国方面に変更した。また、可能な限り不特定多数の人と接する機会をなくすることができる行程、宿舎を選択した。
対面にならないように同じ方向を向いて食事をとる座席配置を工夫した。集合時には間隔をとり、バス乗車時間や出発時間をずらす等してできるだけ密にならず、スムーズに流れるようにした。
貸切バスでの移動(公共交通機関を利用しない)。なるべく一般の人との接触機会を少なくする。
一般的な感染対策の徹底はもちろんのこと、旅行先で何か起こった場合は、直ぐに保護者が迎えに来れる旅行地を選択する。
大雨でマリナー体験ができなくなり、急遽、レジャーランドでの活動とした。
大部屋泊は避けた。大浴場使用を避けた。ヴュッフエスタイルの食事は食材を皿に取る際、ゴム手袋を着用。班別学習の際に班に一つ手消毒スプレーを配布。
単なる遊びや思い出作りにならないように、学びの場や生徒主体の活動を設定する。
短時間でできる体験活動を日程に組み込んだ。普段生活しているところが海のない地域なので、水に関わる体験を必ず入れることとした。
長崎市内をじっくりと丁寧に見学する。平和学習をしっかりとする。
当該学年が2年生の時に行った宿泊学習でコロナ感染者が複数名あったことから、生徒・保護者の心理面を考慮し、バスの台数を増やして移動時の密を避けられるよう配慮した。
当初から、コロナ感染対策の腹案として日帰り×3回を計画していたことで、生徒や保護者の混乱を最小限に抑えられた。
当初は沖縄方面で計画していたが、新型コロナウイルス感染症の関係で行き先を変更することとなった。集約列車を予約していなかったため、予算の範囲内で実施可能な広島～神戸・大阪方面とした。
当初民泊を予定していたがコロナ感染症の関係で民泊ができなくなり、4月から6月に変更し、宿泊施設が確保できず、2泊3日を1泊2日にしなければならなかった。予算の関係で、宮島からの帰路を船舶を利用して工夫したが、船の移動は厳しいものがあると痛感した。
当初予定の方面を変更したことにより、感染症対策を講じたうえで、さらに方面の変更がないように、業者などと綿密に連携を行った。

特に宿舎内での密を避ける工夫や、体験活動等でのコロナ対策に配慮。
特別支援学級の生徒と一緒に活動できる場所 / 新型コロナウイルス感染症予防をしっかりとされている場所
特別支援学級生への支援と配慮
内容をブログにより保護者等に伝える
日程変更
入学時より取り組んできたSDG'sの総まとめとなる修学旅行にするべく、事前学習を丁寧に時間をかけて準備した。端末を使用した調べ学習や現地企業と連携したワークショップ等、探究学習に深みを持たせるようにした。また、生徒たちの中から修学旅行プロジェクトチーム(リーダー組織)を立ち上げ、保護者説明会から事後の取組までを生徒主体で行う取組とした。
熱中症、コロナ対策として定期的にペットボトルのお茶を準備した。
発熱者の対応に苦慮。隔離、診察、受検、検査後陰性が判明するまでの対応に苦慮。保護者に迎えを依頼したが来てもらえず、現地で学校がすべて対応した。最近では抗原検査キットによる判断が可能であるので、次回は携帯したいと思う。
発熱等のコロナ疑いの時の対応、教員体制
班別学習時の生徒の安全確保
費用を抑えながら体験活動を多くする。移動時間を短くする。
非常時、保護者が迎えに来やすいように、できるだけ近距離の場所を選んだ。
飛行機を使わない場所への旅行にした。
必要なコロナ対策を照って実施した。
不特定多数の人との接触をできるだけ避ける(感染症対策として)
平和学習
平和学習ができて、広島以外で万が一現地で保護者に迎えに来てもらえるように陸送可能な場所選びました。
平和学習が実施できる方面で検討した
平和学習の場所を生徒たちに選ばした。京都市内の観光については、生徒たちにプレゼンテーションをさせ、決定した。
保護者が迎えに来やすい地方にした。
保護者が迎えに来られる域内(近畿圏内)
保護者が自家用車で迎えに来ることができる場所・距離であることが必要
保護者が車で迎えに来れる場所を選んだ。SDG'sに力を入れた。
保護者の送迎可能な距離、感染症対策及び1部屋の利用人数
保護者説明会を1回増やした。
方面を変更し実施する / 感染予防の徹底 / 体験活動を入れる 等
本校初の民泊体験です。
本年度はコロナ禍であったので、感染防止対策、感染した場合の対応ができれば配慮した。また、市教委からできるだけ2泊3日での旅行をするように指示をうけたので2泊できる行程を計画した。
本来は国際通りの班行動の中で、子どもたちのみで昼食をとらせる予定であったが、学校のみで一ヶ所で昼食をとることにした。
本来ファームステイを希望していたが、コロナの拡大によって、ファームステイをあきらめ、クラスごとの分宿を2泊した。
未だ新型コロナウイルス感染症の感染リスクは高く、いかにそのリスクを下げるか、そして万が一感染した場合にどう対応するか、学年職員や旅行社と話し合った。
民泊なし。
民泊の実施が難しかったので連泊にした。
民泊の中止 / 宿泊施設における1部屋の生徒の人数を最大3名まで / 散策における昼食を自由にせず、特定施設で一斉に昼食。
民泊は実施しないこととした。
民泊は実施せず、宿泊場所を2泊とも同じ場所にした。
民泊をやめ、ハウステンボスに変更した
民泊を何とかできるように場所の変更を検討した。
民泊を行うことで「食物アレルギー」など、何度も事前に確認・打合せを行った。
民泊予定の受け入れがかなわなかったので連泊にして、移動の負担を避けた
無事に帰ってくる
陸路で、体調不良者が出た場合、自家用車で迎えに来てもらえる範囲で計画する。
旅行会社と連携をとってコロナ感染防止につとめた。
旅行中にコロナに罹患した生徒の保護者等によるお迎えを考慮し、代替旅行先を移動制限のかからない大阪府内に変更した点。
旅行中にコロナ感染が判明した場合、保護者に迎えに来てもらう必要があったので、自動車の運転で無理の無い距離を考えた。
旅行中にコロナ陽性となった場合の保護者対応に関する事前周知
旅行中に新型コロナウイルス感染症に感染した場合の対応についてのシミュレーション
令和4年1月の時点で、本来新幹線で九州方面へ行く予定を中四国方面へ貸し切りバスで行くことに変更した。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)
連休直後で感染不安の残る中でしたが、生徒の感染防止など安全に最大限配慮し計画した。
連泊の採用

3-(3) 各施設(宿泊・見学等)への意見・要望等について

初日は宿舎の人員不足が感じられ、食事が物足りなかった。
コロナ、アレルギー対応
コロナ感染症対策団体との団体との接触をできるかぎり避けるように配慮していただいたり、細かな配慮が徹底していたので安心できました。
食事はたっぷり、生徒たちは満足していた。全館貸し切りで、大宴会場、大食事開場ともに広々と利用できてよかった。
食物アレルギーについて、施設側の意識が少し低いと感じた所もあった。命に関わることなので、慎重にご対応いただきたい。
丁寧な打ち合わせと迅速な連絡・対応

民泊の衛生面。ある宿に泊まった生徒のほとんどに発疹が出た。ダニか何かにかまれたものと思われる。ひどい生徒は全身にわたった。
旅行会社とのやり取りをしっかりと行うこと、学校も主体的に情報を集める必要がある。
食事の代替メニューが1本化して助かった
キャンセル料の軽減をお願いしたいです。不登校生をギリギリまで誘いかけたいので。
コロナ感染予防への対応として全館貸切。発熱、体調不良生徒への対応(予備の部屋等)
とても丁寧に対応していただけたが、食事の内容については検討が必要であった。
とても良くしていただきました。
ホテルでは、とても対応がていねいで、大人としての扱いをしていただいた。
感染症対策(特に食事会場)
感染対策の徹底をお願いした。そのことを保護者向け説明会で伝えた。
軍艦島クルーズ・上陸は、コロナ対応や事前確認、生徒への対応資料も充実しており、安心して参加できた。
子どもたちは雄大な自然やペンション泊・リゾートホテル等、非日常の体験で良い思い出をつくっていたとおむ。お世話になった現地の方々に感謝し
事前にアレルギー対応を細かく打ち合わせたにもかかわらず間違っていたり対応できていなかったりした。
宿泊が他校と重ならないこと / 朝食会場が他校と重ならないこと。
宿泊や活動に際して、本部設置場所の確保ができること / 夜間など、自販機や売店などを利用して水分確保ができることをお願いしました。
食事が不満(量・内容・器はプラスチックや紙)
他のお客様がなく本校のみの貸切であったことがよかったです
他の修学旅行生と重ならないようにしてほしい。
地元の食材を使った食事をより多く準備してほしい。
天候に左右されない体験プログラムが組みたい。また、雨天時の代替プログラムの内容も、同等の価値が感じられるものが望ましい。感染対策をしたうえで、集会等ができる場の提供をお願いしたい。
二泊目の宿泊施設において朝食のパン提供の不備(SDGsの観点からとの理由で提供個数を無断で減らしていた)
飛騨高山の宿泊施設の食事は、地元の産物を取り入れた郷土料理もあり、良かった。ラフティングは良い経験になったが、高額であり、検討を要する。
両日ともこちらの希望を最大限実現させてくれたので、安心して生活できました。
今回は連泊でしかも貸し切りだったので良かった。次年度もこのような施設を活用したい。
1校1館で実施できるとありがたい。あわせてフロア貸し切り等。
1泊目の宿泊先では、新型コロナ感染防止対策が不十分であり、意識が非常に低かった。
1泊目の道後プリンスホテルは、料理も豪華で、生徒達も大満足であった。住友金属工場見学でのSDGsの話も、楽しい修学旅行の中で、ぴりっとした部分として大変良かった。
1泊目は台風通過直後だったため、休業しているアトラクションがあり残念だった。食事は十分満足いくものだった。宿泊施設は豪華であった。
2泊とも修学旅行受け入れに慣れていた宿舎だったので、いろいろと配慮をしていただいた。
300人全体が一堂に会する場所がほしい / 個室での入浴可能にしてほしい
3密回避対策
4宿舎利用したが、できれば施設などに大きく差のない宿舎を利用したい。
アレルギーやLGBT問題で、宿泊に配慮が必要な生徒が増えているので、受け入れ施設を柔軟に対応してほしい。
アレルギー除去食の徹底
アレルギー対応について、確実に対応してほしい。
アレルギー対応について、今後とも密に連絡を取れるように。
アレルギー対応の部分で、きちんと伝わっていないことがあり、危険を感じた。
学校・旅行会社をはさんで情報がやり取りされるので、途中で内容が変わっていた部分もあったので、保護者と直接やり取りができるようにしてほしい
アレルギー対応等きめ細やかにしていただき感謝している。コロナ対応も丁寧にしていただいた。実際に行くときまで必要なかというものもありがたえて大変なものもあった。どこまでしなければならないのかという点が非常に難しいと感じた。ただこれまで以上に手間がかかる対応をしていた
き頭が下がる思いであった。
この状況で、利益を得るためとはいえ、本当に様々な感染防止対策などをしていただきありがたかったですと思います。
この状況下で受け入れてもらいたいと思っている。
コロナで距離がある場所へ行きにくいので、食事などの満足度が求められるようになった。
コロナに関係無くとも団体との重なりを考慮していただけることが有難い。アレルギーのやり取りが大変な宿舎があり困った。命に関わることでスムーズにできると有難い。
コロナや緊急の体調不良で、部屋を分けなければならない際に、宿泊している場所と同フロアで部屋数に余裕があると有り難いです。
コロナ禍で行ったため、感染防止対策をしっかり今後も行ってほしい。
コロナ禍において、旅行関係業者は大変な思いをしておられることと推察します。中でも修学旅行を受け入れていただき、また、快適な旅行となるよう配慮いただいたことに感謝いたします。今後、コロナ禍の規制が撤廃され、従前の修学旅行が実施できることを願っています。
コロナ禍における取組として、生徒へのマスクの正しい着用や手洗等について、(添乗員を含め)受入施設のスタッフの方々にも積極的に声かけ等の協力をしていただけるとありがたい。
コロナ禍にもかかわらず、さまざまな感染拡大防止を工夫していただいている。本当に感謝している。
コロナ禍のなか、十分に感染症対策に配慮していただきました。
コロナ禍の状況での感染防止対策の徹底をお願いしたい。
コロナ禍の中、受け入れてくださり、ホテルには感謝しています。ただ宿泊料金が高額であることが課題です。
コロナ禍をふまえた各受け入れ家庭での体験学習実施の可否の確認と学校への綿密な連絡をお願いしたい。
コロナ感染症が発生時に部屋の隔離などのため、部屋の提供 / アレルギーの対応について
コロナ対応(食事の部屋食対応)、アレルギー対応、ホテルの同宿校の回避
コロナ対応で食事がバイキング(個配)となったが、アレルギー対応等で対応が困難な状況もあった。今後アレルギー対応が増加している状況から、食事への配慮が徹底できる施設が望まれる。
コロナ対応として、対面式の食事では無く、一斉に前向きな食事配置にもらった。
コロナ対応を万全にしてほしい。具体的には、各部屋で入浴をすると水量の減少やお湯が出なくなる宿舎があった。また、食事会場にはアクリル板を設置してほしい。
コロナ対策、生徒の会議場所の確保
コロナ対策が不十分な食事施設があり気になった。

コロナ対策として行っている事について、口頭で説明を受けたが、ある程度統一された一覧のようなものが有ればわかりやすいと感じた。
コロナ対策にも注意を払われており、ホテルや食事等問題なく、安心して利用することができた。
コロナ対策の影響もあるのだろうが、ホテルの食事の質が依然と比べて低下していると感じた。
コロナ対策等、きめ細やかな配慮がなされていました。
コロナ発症生徒の別部屋利用に関して、消毒代として40000円請求があった(保険支払い)
それぞれ協力的であった。宿舍のアレルギー対応について、不安な点が当日あったので、万全を期すよう申し入れた。
できる限りの感染防止対策を講じていただき、とても助けられた。
どこの食事でも似たようなもので、もう少し産地の特徴を出すなど変化があると良いと感じた。
どこも感染症予防対策を行っていたが、事後感染者が出るなどなかった。
どこも感染対策がきちっとして良かったです。
とても丁寧に対応していただき、有り難く感じています。
とても良くしていただいた。一泊目の食事会場がコロナのことも考えるとせまく、まわりの人との距離が近かった。
どの施設・宿泊所も新型コロナウイルス感染防止対策を十分に取っていただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。
どの施設も感染症対策をしっかりとされていて、利用しやすかったです。
パリアフリー面の充実
ペンション、ホテルとも好評であった。
ペンションに学級単位での分宿であったが、どの施設でも様々な工夫に対応いただき、感謝している。
ホテルでのバイキング形式の夕食だった為、時差喫食を実行したが、いつクラスターが発生してもおかしくない状況だったため、正直、責任者として旅行を実施したことに後悔した。
ホテルの食事対応に不備があり、予定に影響した。
ホテルの部屋のグレードが、宿泊班によって差が無く、同じであること。
まだまだコロナ対策を徹底しなければならない。
まだまだ保護者・生徒のコロナに対する不安は大きいので、万全の感染症対策を希望する。
もう少し安価なホテルがあれば願う。教員の旅費規程上限の金額を超えた料金がかかっている。
より細やかな個別対応ができる施設がありがたい。
ラフティング体験は、豪雨の影響もあり、水量が多く楽しめた。
レクリエーション会場の確保 / 全館貸し切りを希望
以前よりもアレルギーをもつ生徒の数、種類も多く、より細部までの情報提示と代替食対応をお願いします。
一泊目の施設はきれいであったが二泊目の宿は老朽化しており食事などにもずいぶん差があった。
一般のお客様とできるだけ接触しないように配慮をしていただけるとありがたい。可能なら貸切が良い。
引き続き、コロナ感染対策はしっかりやってほしい。
引き続き安全面に重視した受け入れ体制を整えてほしい
雨の日のプログラムの充実をお願いしたい
各クラスで活動できる場があればよいが。
各施設とも、コロナ感染防止対策が徹底されており、安心して行動できた。
各施設万全の体制で迎え入れていただく準備を整えてくれたので特段の要望等は行っていない
学生団体を受け入れる準備ができており、感染対策に関する対応もスムーズだった
学年のたつての希望もあり民泊を実施しましたが、受け入れ側、学校側ともにリスクは高いと感じました。リスク回避のため旅行当日を含め一週間分の健康観察を持参するという規定があり、忘れ物対応に追われました。受け入れるのであればもっと締め付けの少ない方法をお願いしたいもの
感染症対策とアレルギーのある生徒の対応。
感染症対策と食中毒対策等の危機管理対策
感染症対策の徹底と体調不良への対応。
感染症対策をしっかりしてほしい。安全対策を優先してほしい。おいしい食事と快適な寝具を用意してほしい。
感染症対策を施して下さっていることがよくわかり、ありがたい。
禁煙ルームを希望したが、教員ルームの1部屋が喫煙のにおいがつく、変更してもらった。
近年は複雑なアレルギー対応や、環境衛生が求められる。事前のメニューのやり取り等に対応できていない宿泊施設もあり、当日に危うい場面もあった。
九州では早くから感染予防のシールドの設置が行われなくなったようで、特に食事の際に配慮のある施設を探すのにまどった。
個食にしてもらうなど、コロナに対する対策を十分にいただいた。
個別の配膳
今回宿泊したホテルでは大広間を借りる際に別途会場費として多額の請求(一人当たり4195円)があった。このような請求はやめていただきたい。
四国の宿泊施設、食事等申し分なかった。
子どもたちが楽しみにしている民泊が、一日も早く復活できると思います。
子どもの行動に対して、予定外の行動をとるときには、事前に必ず旅行会社・旅行団に連絡を入れ共有してもらいたい。
施設・設備も大事ですが、やはり「人」ですね。
施設によっては、冷めきった食事だったので、出来るだけ温かい食事がありがたい。
施設の入場料をできる限り安くしてほしい
時間的、空間的ゆとりがあることが望まれます。
自動販売機の飲料がすぐに売り切れてしまい、補充がされない。生徒の掌握上、他のフロアの販売機を利用させられない。
受け入れ人数など仕方がない面はわかるが、ホテルの価格や食事に改善の余地あり
受け入れ態勢は非常に良かった。
就寝前にクラス別の学級活動ができる部屋5つの確保(40人以上がコロナ禍でも集まれる広さ、隣のクラスの声が聞こえないなど落ち着いて取り組みがすすめられる環境 等)
修学旅行の受け入れを始めたばかりとのことだが、丁寧に対応していただけた。
修学旅行用の食事(揚げ物中心など)は検討してほしい。食事でも思い出に残るものなので、充実した内容のものが必要である。
充分対応してもらえた / 建物が複雑で部屋を見渡せない
十分な感染症対策対策をしていただきありがとうございました。

宿舎、食事、体験などとても丁寧で、細かな部分まで配慮をいただき、とても快く感じました。
宿舎の食事の量が多すぎる。約半数の生徒が食べ残す。もったいないばかりだ。SDGsの感覚はどうなっているのか。
宿泊について、一部屋当たりの人数が多かった。コロナ感染予防対策をお願いしたい。
宿泊に関しては、全体的に綺麗な部屋で、生徒は満足していたが、部屋のランクに差があるホテルや、窓から外に出れてしまう部屋があるなど、安全面で気になることはあった。
宿泊施設における食物アレルギー対応を丁寧にいただいた。
宿泊施設については修学旅行の受け入れに慣れていないのか融通が利かず困った。
宿泊施設の老朽化
宿泊先の食事が冷めていたので改善してほしい。
宿泊地、食事場所、見学施設等において、本校貸し切りでの対応を要望する。
宿泊日の湯茶の準備をお願いしたい。また、出発前に生徒の水筒に湯茶の補充をしてもらいたい。
食事については、事前に食材や調味料も含め、アレルギーをもつ生徒に対応するための学校との打ち合わせを十分に行ってもらいたい。
除去食メニューが、別メニューで限られているホテルがあった。(びわ湖大津プリンスホテル)
小さい学校であるが、本年度については、他の学校との同宿は避けることができた。来年度以降も、生徒数の少ない学校でも同宿を避けるか、生活ブロックの棲み分けができるように配慮してほしい。
上記の旅行費用(内訳)では記載欄がないため合計と整合しないが、倉敷市修学旅行助成金(2000円)が支給されている。そういった情報についても提供していただけるとありがたい。(今回は、本校教員が把握し、申し出たため適用されたが、可能なら受け入れ施設や旅行者からの情報提供を望む)
食事がもう一つであった。
食事では、アレルギーを有する生徒への適切な配慮・対応をお願いしたい。
コロナ陽性者が判明した時の隔離用の部屋の手配等に関するフレキシブルな対応をお願いしたい。
食事のボリューム
食事の際の動線やコロナ対策があまりできていなかった。
食事の配膳ミスはアレルギーの問題もあり、十分連携し、絶対ないように対応を要望したい。
食事は、対面しない座席形態で要望していたが、円卓で提供された。
食事会場でのコロナ対策を検討していただきたい。(今回の宿泊施設ではそのような配慮がほとんどなかった。)
食事会場では、すべてアクリル版で仕切られていたのがよかった。歓迎されているのが伝わってくる対応で、生徒たちも大変喜んでいて。
食事会場の座席配置
食事会場図を早くもらいたかった
食事会場等、新型コロナウイルス感染症対策ができているところと、できていないところがある。キャンセル料に特例をつくってほしい。
食事場所の感染対策(対面不可・アクリル板の設置 等)
食物アレルギーについて打ち合わせをした通りの食事提供で、安全を確保すること。
食物アレルギー対応の充実 / 食事内容の工夫(連泊の場合、似たような内容になる、いかにも修学旅行といったメニューで3日目には飽きる)
コロナ対応の充実(食事会場でのパーティションや広い場所の確保)
新型コロナウイルス感染症対策の徹底、救急患者対応
新型コロナウイルス感染防止対策が徹底されており安心感があつた。また、清潔感もあり、食事も満足するものであつた。
新型コロナウイルス感染予防の工夫と徹底
生徒の安全安心を最大限配慮していただければ問題はありません。
素晴らしい施設と徹底した対応に感謝しています。
総合的には良かったが費用は高い
他のグループや団体との接触を避ける(感染症対策として)
打ち合わせ場所を確保してほしい。
体験学習からホテルに帰ってきた際の受付が大変混雑し、一般客の迷惑になっていたのではと危惧する。
対応が手厚く、心地よく過ごせた。
貸し切りや披露目の会場を利用できるとありがたい。
大規模校の受け入れが難しい
大変よくしていただきました
団体で食事をとるため、食事会場内でのお替りをする生徒の動線が交錯しないよう配慮をお願いします。宿泊施設で風呂、洗面台に前の利用者の髪の毛が残っていたり、部屋内に忘れ物が残っていたりして、細かなチェックが行き届いていない点があつたので利用後の清掃や点検を確実にお願いしたい。
団体割引をもっと取り入れて欲しい。
男女別等でワンフロアが使えるようにしてほしいが、四国・中国方面には大規模校の生徒数の受け入れが厳しい施設が少なくない。今、四国・中国方面への修学旅行を企画することが多いが、今後はまた信州方面等への変更も検討している。
地域によってコロナ対策に対する違いがある。
地元の食材や名物を入れていただきたい。
昼食会場と一緒にあった私立中学校のマナーがひどくまた席が近かった点
都内見学施設の選択により旅行代金が大きく変わる
東京都内では、まとまって食事する場所(メニュー)が少ない。班別自由行動にした方が、お店に分散しやすいと感じた。
東京都内のホテルの食事の値段が高い。
量は多いが、冷たい。
費用面の値下げや補助を検討してもらいたい
本校では、200名近くの人数を収容できる食事会場が望ましい。
毎回同じような食事にならないように、メニューの連携をして頂きたい。
民泊はコロナの影響で受け入れてくれるかどうか、ギリギリまでわからないのでしんどい。
民泊受け入れができなかったが今後は大丈夫か
黙食は当たり前だが、ホテルによって、感染対策があいまいである。
様々なことについて、柔軟に対応していただき助かりました。
要望ではないのですが、いわゆる「バイキング形式」の食事を提案してくることが多いので、一般のお客さんと学校では、安全管理の意識が異なることを理解していただきたい。

旅館・ホテルともきめ細やかな配慮がありが良かった。
料金の割に宿泊したホテルの食事内容が良くなかった。

3-(4) 運輸機関・旅行会社への意見・要望等について

バスについては、安全に最大限配慮してご対応いただき安心して引率することができた。
航空機の場合、37.5度以上の発熱があれば乗れないという規定があれば、沖縄等の航空機利用が必要な方面については行くことが難しくなる。その条件が変更されるにはどのような状況になれば良いのかが知りたい。
充実した内容であった。
必要な情報は、旅行者から積極的に連絡してほしい
旅行会社の添乗員費用が、高額ではないかと考える / 今後は、新型コロナウイルスの影響を受けるため、適切な料金の保険が望まれる
旅行会社はよくやってくれた。
コロナ禍で、旅程の変更や臨機応変の対応など、常に配慮いただき助かりました。
どの機関もていねいに対応いただきとてもよかったです
ベテラン運転手さんの起点により、宿舎への大幅時間短縮ができ、火ついでの挽回で非常に助かった。
安全運転を最優先していただきたい。
関西空港発着の飛行機を利用したい。
航空機利用にあたり、大規模校が優先されるためか、日程の確定が遅くなりがちである。航空機を利用する際に、せめて空港の指定ができれば見通しが立ちやすい。
今後、ストレッチャーを使用している生徒が修学旅行に参加する予定にしているが、飛行機への乗船の状況など、情報提供をお願いしたい。
貸切バスでの行程であるので、急なことへの対応がしやすく良かった。
旅行会社の担当者が急遽変更になり、不安であったが、経験のある方に担当してもらえたので、対応としては安心できた。
旅行者も、とてもいねいなきめ細かな対応をしていただいた。
体験メニューにもよるが、年々ご家庭が負担する金額が大きくなっているように思う。
150名以上の団体でも博多以南に新幹線で行けるよう要望します。
3年後には航空機を使う予定にしているが、便数も少なく予定が立てにくいので改善されれば助かります。
4月修学旅行生のための航空機の確保
JR乗り換え時間に余裕があること
TOPシーズンはバスの予約が取れない状況にある。特に、行き先が変更になると、宿泊施設よりバスの確保を早くお願いしたい。
ある一定、計画と合わせる中で、従わざるを得ないかなと思っている。
アレルギー対応の確認をきちんとしてほしい。
かかった時の保護者の対応(保護者が迎えに来たり、学校から自宅に送り届けたり)をもう少し補助してほしい。(費用など)
キャンセル料に特例をつくってほしい。
この状況で、利益を得るためとはいえ、本当に様々な感染防止対策などをしていただきありがとうございました。
コロナに感染しても、体調が重症化しなかったら普通に帰宅、迎えなど対応してほしい
コロナやその他予期せぬ出来事が起きたときに、臨機応変に対応してほしい。また、1年時に旅行者を選定した後、できる限り担当者が変更することのないようにお願いしたい。
コロナ禍での旅行を最大限配慮していただいた
コロナ禍にもかかわらず、さまざまな感染拡大防止を工夫していただいている。本当に感謝している。ただ、事前に旅行会社から資料提供のあった現地の病院が(発熱や大阪からの観光客ということで)実際には受け入れ不可であったりと、コロナ禍での修学旅行において、課題があるように感じる。
コロナ禍のため、修学旅行を取り扱う旅行会社が限定されつつある。
コロナ禍の中、全国の修学旅行がどんな内容で実施されているかの情報や、実際に陽性者確認された場合の対応例などの情報が知りたい。
コロナ感染者が増えたときの柔軟な対応を旅行会社にはお願いしたい。
コロナ感染者の対応を分かりやすくし、できる限り連れて帰れるようにしてほしい
コロナ期ながら真摯な対応をしていただいた。
コロナ時の対応が、未定の所があり、不安を抱えたままの出発であった。
コロナ対応等を考えると、航空機を選択しにくい。
トイレ付きバスの希望
トラブル、急な予定変更への対応力をお願いします。
バス、鉄道の座席図をもう少し早くもらいたかった
バスガイドが高齢で、見学時に生徒と異なるルートで移動することがあった。また、説明もわかりにくかった。
バスガイドさんが超ベテランで、そつなく適切にガイドしていただき、車中が充実した。ガイドブックだけではない、「今車窓に見えている〇〇が～」など、その時々臨機応変に解説いただいたので、楽しみが増えた。こういうガイドさんを、きちんと伝承して、育成していただきたい。
バスだと、何かあった時に生徒の輸送で小回りが効くので良かった。
バス移動が、安心安全で、機動力も高いです。
バス会社も旅行者も安全・安心した取り組みをしていただきました。
バス利用において、燃料費の高騰が旅行費用の高額につながるのが悩ましいところです。
ベテランの添乗員や看護師を派遣いただき、予測外の事態にも迅速・適切に対応していただき、非常に助かった。
まだまだ保護者・生徒のコロナに対する不安は大きいので、万全の感染症対策を希望する。
安心、安全な旅行の実施
安全確保の徹底。
安全性の確保が一番です。
一般客との接触は、出来るだけ無い方がよい。

一般客に迷惑がかからないように、新幹線は一般客と車両を分けてほしい。交通費がかさむと遠くに行けなくなるので、修学旅行に対する助成金を国に要望してほしい。
往路で、新幹線が到着してから、バスに乗車するまでの駅での待機時間が長い。スムーズな移動ができるとうい。
沖縄など宿と飛行機をセットで予約できればありがたい
沖縄への航空機を増便(特に大型)してほしい。
沖縄への修学旅行を計画しているが、航空機の利用時刻が適切と思われる時間帯におさまらないので、改善してほしい。
沖縄方面で梅雨時期に割引があって活用できるが、北海道についても定期的に割引していただければ開拓の可能性が広がる。燃料費の値上げ等で輸送機関はどこも大変だと思うが、生徒の貴重な経験を支えるために様々な措置が図られていくことを願う。
可能な限りの感染対策の充実をお願いしたい。
学校への提案時にはもちろん、その後も臨機応変にプランの変更に応じてもらいたい。また、障がいをもつ生徒が本隊からできるだけ離れて別行動をする必要がないようなプランを考えてもらいたい。費用の面でもバスを長時間にわたり利用する機会が増えると考えられるため、バス内でのCDやDVDの利用について、事前に打ち合わせをさせてもらいたい。オーダーしたバスの車両が変更となり、事前に使用できるといわれていた自作CDが使えない、という件があったため。バス会社には、今後も十分に安全に配慮して運行していただきたい。
感染症(コロナ禍)での修学旅行のキャンセル料は国が負担してほしい。今後、修学旅行での航空機利用は割引率をもっと上げてほしい。これ以上高騰すると今後利用できなくなる。
感染症対策と安全運転
感染対策において、急遽参加できないことが考えられるが、さらに工夫された保険体制の構築を望みます。
企画が変更になって、日程、行程など希望を拒否されることが多く、誠意に対応してもらえなかったとの印象を受けた。
急な変更にもよく対応していただいた。
九州は移動距離が長いので、常にバスに乗っている感じである。
計画段階からの緻密な丁寧さを求める。
原油価格の高騰により、交通費の値上がり気味になる。
現状、市教委の方針により貸し切りバス利用での移動しか方法がないため、特に要望はありません。強いてあげれば、移動が合理的にできるように、市教委の方針を改善してもらいたい。そのために、「コロナ感染症の疑いが合った場合は、隔離する」という国の方針を転換してもらいたい。できるだけ早期に。
現地(民泊先)との連絡を密にすること。不測の事態やアレルギー等の特別配慮について対応してもらいたい。
交通費が高いので、今後、なるべく値上げしないでほしい。添乗員さんの教育の充実(6クラスあると、どの人になるかで違いが出る)
航空機が安くなれば沖縄も考えられる
航空機利用は、融通が全くなりなくなる。
航空機利用時の一括移動
行程(移動時間等)に配慮していただいた結果ではあるが、生徒が事前に検討した班別自主研修の計画案を、行動前に効果的な順路に訂正された。計画通りにならない場合にいかにか判断し、行動するかが学習のねらいの一つであり、そのために通信機器を活用させている。学校との事前の打ち合わせ不足を感じた。
今回はコロナ禍でもあり、当初予定では、生き返りの飛行機が分便のはずだったが、1便で移動ができたため時間的にも助かった。今回、発熱等なかったからよかったが、37.5度以上の発熱のみで搭乗できない規定があり、抗原検査陰性ならば、一定の隔離をして搭乗を認めるなど、幅を持たせた対応をお願いしたい。
今後の情勢が不透明である。今後も集約列車等での辞退のペナルティについてご配慮いただければ幸いです。
今年是全国旅行割引が使えて、保護者の経済的負担がかなり軽くなった。今後も、このような制度が使える場合は、うまく活用できるように旅行会社が提案してくれるとありがたい。
混雑を避けてスムーズな誘導と体験になるように全校の把握をしたい。
細かいところまで何度も足を運んでいただき、確認できたので本当に助かりました。
細かいミスが多かった
四国に渡るフェリーで、乗船の際にその方法についてトラブルがありました。こちらの想定不足だったところが大きな原因だと思いますが、フェリー側でも危険を想定し、アドバイス、注意喚起をいただけて回避できたのではと感じました。
施設予約の影響で日程の変更が生じることを無視して欲しい。水・木・金の行程が2年続けて日曜出発に変更となった。
施設利用料や燃料、人件費など修学旅行費用高騰に対する補助や削減など、どこかで何かで検討や実施をしないと値上がり感が強く、旅行費の徴収方法にも支障をきたす。
時間確定を少しでも早く知らせてほしい
実施までの間に旅行社の担当が変更になり、引継ぎが不十分であったのか、不手際が多いと感じられた。本来旅行社が対応すべきであると考えられる場面で、学年職員が対応しなければならないことが多く(集合場所の確認等)、非常に負担が大きかった。誠意のある対応をしてほしかった。
取扱業者の担当者が、新型コロナウイルス感染防止対策が不十分であり、意識が非常に低かった。
修学旅行の見積もりを、小規模校のため出していただけない業者が多かった。採算が取れないのだと思います。
修学旅行を取り扱う旅行会社が減少してきている
修学旅行先で生徒の新型コロナウイルス感染症罹患が判明した場合には、公共交通機関の特別車両等での移送を実現していただきたい。保護者の迎えを依頼していますが保護者も罹患した場合、迎えを期待できませんので。
集約列車により交通費が抑えられることはありがたいが、航空機も含め一定の幅で時間指定ができるとありがたい。
集約列車の時刻の調整がきけば嬉しい。(朝をもう少し遅く、帰路の時刻を少し早く)
集約列車の利便性を向上させてほしい。(宿泊施設との関係もあり日程調整が困難)
集約列車を使う場合の、乗り換えの待ち時間の長さは、できる限り短い方が助かります。
集約列車を申し込んだ場合、コロナ禍において急なキャンセルやペナルティの有無について、また、方面変更にどのように対応するか、校長会で早めに方針を示していただきたい。
充分対応してもらえた
小規模校への特別割引の検討
少子化により過疎化の地域などによる小規模校が増えています。そのような中で旅行会社が小規模校を敬遠する傾向にあると思いますので、小規模校の子供たちにも有意義な修学旅行となるようぜひとも対応を継続していただきたい
少人数の学校なので、借り上げバスは生徒一人当たりの交通費が高くなる / 新幹線は集約列車はありがたい
上記内容で、今後も発生する可能性は大である。請求金額をいったん学校で立て替え(拒否したため旅行社が立て替えなければならない)のほどうにかならないものか。5人発症し5部屋借りたら20万もの金額を立て替えられないようなことが生じる。
新幹線:体調不良者が出た場合に隔離対応が出来ること / バス:空気の循環が徹底していること。
新幹線に乗り込む直前に、他校との兼ね合いで、ホームに上がる手順が変更され、かなり混乱をきたした。
新幹線のD2集約列車の利用枠を増やしてほしい。抽選にもれて、より時間のかかるD1や定期列車の利用になってしまうため。

新幹線の安全度が気になる。
新幹線の待ち時間も少なくバスの乗り降りなどもスムーズでよかったです。
新幹線ホームでの車いすの利用ができるようJRIに配慮をお願いしたい。
新型コロナウイルスに係る保険の最新情報を逐一報告していただき、具体の例などにに基づき事前の予測を共有していただきたい。
新型コロナウイルスの感染状況により、度々修学旅行計画の変更があったが、そのような中でも、旅行者には、アドバイスをいただいたり、丁寧に対応していただき感謝している。
新型コロナウイルス感染症に起因する旅行の延期や変更等について柔軟に対応して欲しい。(キャンセル料など)
人数の少ない学校なので、仕方ないのかもしれませんが、添乗員費用が、高額すぎる。添乗員費用については、当初の提示額をかなり減額してもらってこの額になった。当初は、一人当たり約7500円で、諸経費とあわせ、1万円弱でした。おそらく、業者規定と思うので…、でも高すぎる。人数割ではなく、一律一人いくらには、ならないものか。
生徒の安全、安心のための旅行会社の担当者は決め細かい打ち合わせを要望したい。
生徒数が少ないことで、旅行の見積もりさえ提示できないという業者が複数ある。実際に現1年生の旅行プランを提出したのはJTBのみ。学校規模で旅行内容が制限されたり、最悪は取扱業者がない状態になる(可能性がある)のは大きな課題だと考える。
他のグループや団体との接触を避けられる配車、環境など考慮をお願いしたい
他の学校と行き先もうまく調整されていて大きなトラブルもなく終了できた。
貸し切りバスの料金と宿泊施設の料金があまりにも高すぎる。教職員が引率に行き、支給される旅費等より自分で支払う料金の方が高くなってしまふことには疑問を感じる。(贅沢な旅行は企画していません)
大阪府の旅費の規定では、レンタカーを使えないので規定を守れば、東京のように都会に行くことになるが、目的から行き先を決めるのではなく、手段から行き先が決まるような状態になっており、現実離れしていることが意味不明である。
大変綿密な計画を立ててもらいありがたかった。
団体割引をもっと取り入れて欲しい。
団体専用列車は有難い。
値上がりに関して、保護者負担が増えないよう配慮をお願いしたい。
値段が高く、旅行費用の大半が交通費となっているためどうにかならないか
長い行程のバス移動でしたが快適でした。
適当であると思います。
添乗員の人数の確保
当日に計画が変更されることがないように、事前に入念なリサーチをお願いします。
突発的なトラブルに対して、即座に対応できる体制をお願いしたい。
那覇空港において、帰りの便が「システムの不具合」という機長からのアナウンスで、機内で1時間20分の待機となった。窓が開かない機内での待機がとても不安に感じた。
費用の関係でバスでの移動にしているが、長距離の移動については感染防止の観点からは課題がある。
費用面～輸送料の値上げなどがあったため
飛行機での移動の場合、大規模校であっても同じ便での移動をお願いしたい。
飛行機の発着時間を希望通りにしてほしい。
保険内容の充実(コロナ対応に準拠した、例えばコロナ陽性の診断を受けてなくても、発熱等の症状が出た段階で迎えに来てもらう場合の交通費やキャンセル代の保障)
本校は該当しないが、コロナ禍において集約指定列車のキャンセルに伴うペナルティが考慮されている事は、学校サイドとしては大変ありがたいことである。
毎年、JR西日本・九州の皆様には十分な対応をしていただきありがとうございます。姫路市は旅行団としてJR団体列車を利用させていただいております。4月後半に35校が5～6班に分かれての出発となります。1週間で、すべての学校を出発させたいのですが、JRの規定により水・金曜日は集約列車の運行はしない。ゴールデンウィークに係る集約列車は出せない。などの制限があり、日程調整に苦慮しています。水・金曜日の集約列車運行を可能にするなどの条件の緩和をお願いいたします。これが困難であるなら、今後、姫路市旅行団として今後の修学旅行の在り方について考える必要がでてきます。ご理解とご検討をよろしく申し上げます。
密な連携の取りやすさ
輸送機関や旅行会社ではないが、コロナ対応の保険等を充実させていただきたい。現状では、コロナ陽性になった場合は保険が有効だが、濃厚接触者については全く保証がない。「濃厚接触者」という概念自体の見直しも必要かもしれないが。)
輸送費の据え置き
予定変更しなければいけない状況があったときに、臨機応変に対応してほしい。
旅行会社からの返事が遅く、困ることが多々ありました。
旅行会社が業務を縮小したり撤退したりしていくなかで、今まで通り修学旅行を実施できるか不安である。
旅行会社にお願いしていたことの対応が遅かったり、忘れていたりなど何度も連絡を取ることで困った。また、担当者的下見や引率が多く、学校に来てもらいたい時期に来てもらうことができなかった。
旅行会社については、不安に伴う細かな質問に丁寧に回答していただいた。ただ、保険についてはこちらの知識がないためわかりにくいことが多かった。丁寧な説明とアドバイスをいただければ助かると思った。
旅行会社には誠意ある対応を要望する。
旅行会社には責任をもって担当してもらいたい。
旅行会社に対してこちらが聞くこと以外の情報が入ってこなかった。こちらから連絡しないと連絡がなかった。もう少し電話連絡や、直接来校していただけて相談にのってほしかった。
旅行会社の対応が遅いので困った
旅行会社の対応が遅かったことがあったため、改善を望む。
旅行会社の担当が急に代わり、対応に多々問題があった。事前準備や旅行中の対応も抜けている点が多く、正直困った。
旅行会社の担当が途中2度も変わったので、何度も同じ説明をしたり、引き継ぎが上手にいらなかったり、大変だった。コロナの影響で旅行会社も大変そうなので、仕方がない部分ではありますが…
旅行会社への要望～連絡や相談を修学旅行直前にきちんと取れりようにしてほしい(質問しても返事が遅いなど、他校との修学旅行が被っていたため、対応が非常に遅い)
旅行会社へは、コロナ関連や天候等、急な変更を余儀なくされた場合に対して、柔軟な対応、充実感のある変更プランを是非ご準備しておいていただきたい。
旅費が年々上がっている。輸送機関の旅費への補助(国や自治体)が必要。
臨機応変に対応していただいた。
臨機応変の対応ができない添乗員で困った。

4. 2024 (R6) 年度 実施計画状況について ★未回答校を除く

1-(1) 方面について(校数)

(単位:校数)

方面	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	総計	比率
北海道	1		1						2	0.2%
東北									0	0.0%
関東	29	5	70	37	23	9	16	7	196	19.3%
中部	58	46	13	3	12	5	2	4	143	14.1%
近畿	4	1	2				1		8	0.8%
中国・四国	38	51	2	1	14	5	7	9	127	12.5%
北九州	48	12	82	8	15	19	4	6	194	19.1%
南九州	1	1	8	3		1			14	1.4%
沖縄	102	5	59	29	21	24	31	44	315	31.0%
その他	9		4		1			4	18	1.8%
総計	290	121	241	81	86	63	61	74	1,017	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

※関東(伊豆・富士含む)、中部(信越・北陸・東海・伊勢志摩含む)、北九州(九州7件のうち宮崎・鹿児島除く)

※回答データのうち、実施年度が2024(令和6)年度以外などの誤入力データは除いています

※上記校数には、出発日が未記入のデータも含まれていますので、年度違い等でデータが実際と異なる場合がございます

1-(2) 方面について(人員)

(単位:人員)

方面	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	総計	比率
北海道	85		9						94	0.1%
東北									0	0.0%
関東	4,531	825	5,688	5,188	1,232	958	1,399	657	20,478	15.4%
中部	9,257	6,713	2,507	279	1,510	708	464	474	21,912	16.5%
近畿	527	284	206				207		1,224	0.9%
中国・四国	5,733	6,093	460	148	1,657	390	976	984	16,441	12.3%
北九州	7,135	1,873	12,594	1,070	1,690	2,321	442	703	27,828	20.9%
南九州	46	99	1,544	475		80			2,244	1.7%
沖縄	14,179	659	6,900	3,958	2,358	3,606	4,725	4,496	40,881	30.7%
その他	1,434		334		149			131	2,048	1.5%
総計	42,927	16,546	30,242	11,118	8,596	8,063	8,213	7,445	133,150	100.0%

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

※関東(伊豆・富士含む)、中部(信越・北陸・東海・伊勢志摩含む)、北九州(九州7件のうち宮崎・鹿児島除く)

※回答データのうち、実施年度が2024(令和6)年度以外などの誤入力データは除いています

※上記生徒数には、出発日が未記入のデータも含まれていますので、年度違い等でデータが実際と異なる場合がございます

1-(3) 主たる交通手段

(単位:校数)

	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	合計
JR	87	22	153	49	41	28	22	16	418
集約列車	25	16	106	48	14	27		3	239
小口学生	62	6	47	1	27	1	22	13	179
航空機	101	5	66	29	22	24	31	44	322
貸切バス	96	94	18	3	25	10	9	10	265
その他・記載なし	6		4			1		4	15
合計	290	121	241	81	88	63	62	74	1,020

(単位:人員)

	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県	合計
JR	13,436	3,288	19,291	6,916	3,288	3,294	2,341	1,697	53,551
集約列車	3,616	2,281	12,255	6,716	1,335	3,213		355	29,771
小口学生	9,820	1,007	7,036	200	1,953	81	2,341	1,342	23,780
航空機	13,908	659	7,223	3,958	2,536	3,529	4,725	4,496	41,034
貸切バス	14,751	12,599	3,304	244	2,938	1,083	1,303	969	37,191
その他・記載なし	832		424			157		283	1,696
合計	42,927	16,546	30,242	11,118	8,762	8,063	8,369	7,445	133,472

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

2-(1) 航空機利用校方面別出発希望日別一覧（未回答校は除く）

（単位：上段～校数/下段～人員）

方面	北海道		関東		中国四国	南九州	沖縄							全体	
	大阪府	兵庫県	兵庫県	京都府	京都市	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県	奈良県		沖縄全体
4月10日								1						1	1
								65						65	65
4月14日													1	1	1
													22	22	22
4月16日								1						1	1
								244						244	244
4月17日											1			1	1
											148			148	148
4月18日												2		2	2
												399		399	399
4月20日							1					1		2	2
							182					54		236	236
4月21日				1				1		1		3		5	6
				80				125		23		214		362	442
4月22日												1		1	1
												67		67	67
4月23日						1		2		2	1	2	1	9	9
						272		183		102	131	167	33	888	888
4月24日							1	4	1		1	12		19	19
							51	280	142		254	2,093		2,820	2,820
4月25日												2		2	2
												420		420	420
4月26日												2		2	2
												287		287	287
5月7日						1		3					1	5	5
						219		207					191	617	617
5月8日						2		5	1	2	1		4	15	15
						246		465	178	209	109		598	1,805	1,805
5月9日						2		1			1		2	6	6
						299		126			77		226	728	728
5月10日						3		1						4	4
						363		252						615	615
5月11日						1								1	1
						90								90	90
5月12日							1	1					1	3	3
							125	137					179	441	441
5月13日			2						1					1	3
			125						160					160	285
5月14日			1					1			1		3	6	7
			6					20	107		173		593	893	899
5月15日			1	1		2		1	2				4	9	11
			106	178		447		44	251				561	1,303	1,587
5月16日						3		1						4	4
						189		58						247	247
5月17日						1		2						3	3
						97		454						551	551
5月18日						1			1					2	2
						115			161					276	276
5月19日									1	1	2			4	4
									189	166	257			612	612
5月20日						1		1	1	1				4	4
						108		96	102	68				374	374
5月21日								5	2	1	1		1	10	10
								421	390	69	70		88	1,038	1,038
5月22日		1				4		2	2		2		2	12	13
		9				476		222	301		208		268	1,475	1,484
5月23日						2								2	2
						289								289	289
5月24日						1		2	1		2			6	6
						190		370	155		407			1,122	1,122
5月25日	1					2				1	1			4	5
	85					364				140	172			676	761
5月26日						1			3					4	4
						129			298					427	427
5月27日						3		1	1	1				6	6
						592		235	55	115				997	997
5月28日						1		3	2	1			1	8	8
						142		406	242	124			38	952	952
5月29日			1			2		1		2			4	9	10
			15			143		199		285			290	917	932
5月30日						1		1			1	1	1	5	5
						304		195			157	290	8	954	954
5月31日						3								3	3
						337								337	337

2-(2) 航空機利用校方面別出発希望日別一覧（未回答校は除く）

（単位：上段～校数/下段～人員）

方面	北海道		関東		中国四国	南九州		沖縄					全体		
	大阪府	兵庫県	兵庫県	京都府	京都市	大阪府	大阪市	兵庫県	神戸市	京都府	京都市	滋賀県		奈良県	沖縄全体
6月1日						1		1					1	3	3
6月2日						155		225					172	552	552
6月3日						4							1	5	5
6月4日						775							194	969	969
6月5日														0	0
6月6日						2			1		3		2	8	8
6月7日						414			161		518		332	1,425	1,425
6月8日						8					1	1	1	11	11
6月9日						983					81	89	53	1,206	1,206
6月10日										1				2	2
6月11日						1				122	163			285	285
6月12日						157								157	157
6月13日						1								1	1
6月14日						176								176	176
6月15日						2				1				3	3
6月16日						212				103				315	315
6月17日						3						2		5	5
6月18日						353						170		523	523
6月19日									1		1			2	2
6月20日						7							1	8	8
6月21日						879							28	907	907
6月22日						70								70	70
6月23日						1								1	1
6月24日						197								197	197
6月25日														0	0
6月26日						1								1	1
6月27日						223								223	223
6月28日														0	0
6月29日						1								1	1
6月30日						40								40	40
6月31日														0	0
6月32日														0	0
6月33日						2								2	2
6月34日						150								150	150
6月35日														0	0
6月36日														0	0
6月37日														0	0
6月38日														0	0
6月39日														0	0
6月40日														0	0
6月41日														0	0
6月42日														0	0
6月43日														0	0
6月44日														0	0
6月45日														0	0
6月46日														0	0
6月47日														0	0
6月48日														0	0
6月49日														0	0
6月50日														0	0
6月51日														0	0
6月52日														0	0
6月53日														0	0
6月54日														0	0
6月55日														0	0
6月56日														0	0
6月57日														0	0
6月58日														0	0
6月59日														0	0
6月60日														0	0
6月61日														0	0
6月62日														0	0
6月63日														0	0
6月64日														0	0
6月65日														0	0
6月66日														0	0
6月67日														0	0
6月68日														0	0
6月69日														0	0
6月70日														0	0
6月71日														0	0
6月72日														0	0
6月73日														0	0
6月74日														0	0
6月75日														0	0
6月76日														0	0
6月77日														0	0
6月78日														0	0
6月79日														0	0
6月80日														0	0
6月81日														0	0
6月82日														0	0
6月83日														0	0
6月84日														0	0
6月85日														0	0
6月86日														0	0
6月87日														0	0
6月88日														0	0
6月89日														0	0
6月90日														0	0
6月91日														0	0
6月92日														0	0
6月93日														0	0
6月94日														0	0
6月95日														0	0
6月96日														0	0
6月97日														0	0
6月98日														0	0
6月99日														0	0
6月100日														0	0
記載なし			1			29	2	17	7	6	3	2	12	78	79
全体	1	1	6	1	1	102	5	59	29	21	24	31	44	315	325
	85	9	314	178	80	14,179	659	6,900	3,958	2,358	3,606	4,725	4,496	40,881	41,547

※「大阪府」「兵庫県」「京都府」の項目には、それぞれ「大阪市」「神戸市」「京都市」の数値は含まれておりません

※回答データのうち、出発日が「記載なし」の数値は、誤って2022年度や2023年度のデータを入力回答の場合も考えられ

実際の数値と異なる可能性もございます。但し、2024年度以外の年度が記載されているデータは除外しています。